

43222

教科書文庫

4
293
41-1943
20000 24156

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

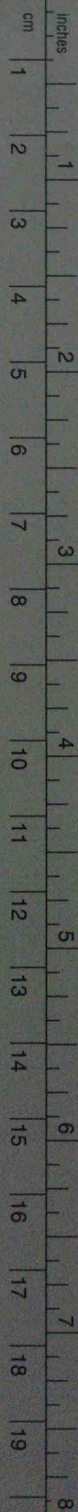


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫
4
293
41-1943
2000024156

中等地理一

文部省

(51)



教科書文庫

4

293

41-1943

2000024156

資料室

375.9
M014

中等地理一

文部省

広島大学図書

2000024156



廣島大學
圖書印

目録

序	四
ヨーロッパ及びアフリカの概観	九
地中海地域	十九
中歐地域	二十九
北歐地域	四十五
東歐地域	四十九



イギリス諸島	五十五
中南アフリカ	六十一
北米及び南米の概観	六十八
アングロアメリカ	七十六
ラテンアメリカ	九十
大西洋	百



一序 説

世界地圖を開いて見よう。先づわれは海と陸との組合はせが、所によつてさまざまになつてゐることに氣づくが、同時に世界にある皆さんの國々は、海と陸とに關してそれと異なつた位置を占めてゐるところがわかる。海に廣く面した國もあれば、全く海のない内陸國もある。海といつても、インド洋のやうな熱帯の海もあれば、北極海のやうな寒帯の海もあり、又、太平洋のやうな地球表面の三分の一にも當る廣大な海もあれば、ヨーロッパとアフリカとの間にある地中海のやうに、奥深く陸地に入り込んだ海もある。陸に於いても、その形や大小に就いて同様のことがいへる。

かうした海と陸とに關する國の位置といふことだけに就いてみても、

國々の性格にいろ／＼な相違のあることが考へられる。何といつても先づ第一に、世界最大の海と陸とを兩翼にもつやうなわが國の特殊な位置と、その奇しき使命とが思ひ合はされる。

他の國々に就いても、海に縁の深い國全く海に縁のない國、その中間の國など、それと地圖の上で或る程度の推察もできるが、しかし實際のことは、氣候や資源や産業や人口や國民性など、種々の事項に就いて検討しなければ、十分に理會することはできない。それらの内容を頭に入れて、再び地圖に向かへば、一國に關する海と陸との問題からだけでも、更に一層突つ込んだ考察を試みる事ができるし、又、新しい問題が讀圖の進行につれて次々に提出される。そこに地理學習の興味も意味もあるわけである。

海と陸とに對する位置的特色は、氣候に、産業に、交通に、國民性に、文化に、そのほか種々の方面に關係するところが深いのであつて、一つの地理的

事項に就いて考察を進めて行くだけでも、一國の殆どあらゆる問題に觸れることになる。随つて、一國に就いて種々の角度から地理的考察を加へて行くことは、その國を理會する上に非常に大切なのである。

國民學校に於いて、わが國土並びに大東亞の地理を學んだわれは、更に進んでその他の世界に就いて、かうした地理的考察の歩を進めるのであるが、そこには、いろいろの土地、たくさん國々がある。

しかも世界は今や大きな變動に直面してゐる。多くの國々が遠近の地で戦ひ、領土の境界は改められなければならない情勢にある。このやうな大規模な動亂は未だかつて起つたことのない大事件で、たとへ直接戦争に参加してゐない國であつても、この世界的大動亂の圏外に立つことはできないのであつて、總べての國々にその影響が及んでゐる。かうして、世界は大きく動きつゝ、移り行くのであり、われは正にこの世界的大轉換期に際會してゐる。

米英の世界制覇の野望を打ち碎き、世界に新しい秩序を打ち立てようとするわが國にとつて、大東亞戦争とヨーロッパの戦争とを切り離して考へることはできない。米英の打倒なくして大東亞の建設も世界新秩序の確立もないからである。

地理の學習は何も戦時に限つて必要であるといふばかりではなく、地理的識見を高め、國土愛護の念を涵養する上に、常に大きな役割をもつものであつて、そのためにはわが國の地理のみでなく、廣く内外に就いて學ぶ必要がある。

特に今日のやうな世界情勢のもとに於いては、わが國と密接な關係のある大東亞はもちろんのこと、廣く世界に於ける各國の資源や生産力や國民性等に就いて考察し、以つて各國の特性を理會し、その長所短所を検討することの必要を痛感する。

八紘爲宇の大精神によつて、正しく新しい世界を打ち立てようとして

戦つてゐるわが國にとつて、世界の國々は決して無關係ではあり得ない。どんな國も、又どんな地域もわが國と結びつけ、引き合はせて考へることができ、そこに他の國を知る眞の意義が存在する。

わが國土の地理も、大東亞及びその他の世界の地理も、その學習の目ざすところは一つで、要は、世界に於ける皇國の地位と使命とを明らかにすることに盡きるのである。

二 ヨーロッパ及びアフリカの概観

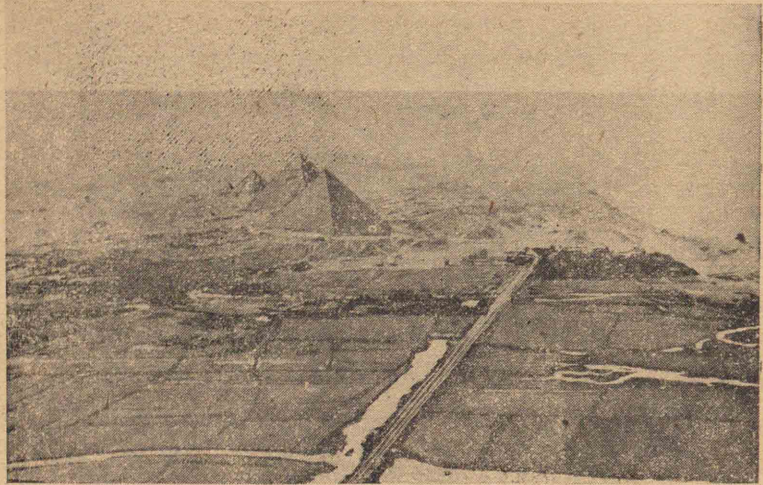
ヨーロッパは地圖を見てもわかるやうに非常に狭い。その面積は全陸地の僅か百分の七にしかな當らない。かういふヨーロッパが今まで世界の中心であると誇り、世界の富を集めてゐたのは、どうしてであらうか。その理由は複雑で、一口には言へないが、その位置や風土のよい關係から、農業、牧畜を始め、總べての産業が一樣に高度に發達し、ひいては商業交通も活潑に行はれ、おのづから文化、學術も向上進歩して、一般に國力が充實してゐたからである。實際、世界の幾つかの強國がこの狭いヨーロッパに集つてゐる。

しかし、ヨーロッパが、さうなつた土臺として大切なことは、人口の増加であり、民族の活動力である。ヨーロッパにはチュートン族、ラテン族、スラブ族と呼ばれる三つの代表的な民族があるが、それらのヨーロッパ人

は、この三百年間に六倍以上にふえてゐる。しかも、わが室町の末戦國の頃から、ラテン族・チュートン族はアフリカやアメリカやインドや南洋に、スラブ族は又シベリヤに發展し始めたが、その後人口の増加につれて海外に發展するものが益々多く、最近の百二十年間だけでも六千萬以上の移民を送り出して、ヨーロッパの七倍もある廣大な植民地を獲得し、世界の富を集めるやうになつた。わが國でも明治維新以降、人口が目ざましく増加し、それと共に國力が發展したことを思ひ合はせるならば、何が國力發展の重要な基礎であるかを納得することができるであらう。

しかし、ヨーロッパにとつて最も大切な植民地であつたアメリカの各地は、百六十年ほど前に米國が獨立してから相次いで獨立し、次第にヨーロッパに對抗する勢力をもつやうになつた。ヨーロッパの勢力範圍は、當時もはや縮小の一步を踏み出してゐたのである。特に大東亞戰爭開戦以來、東インド・マライ・ビルマなどが大東亞共榮圈に参加するやうにな

エジプトの耕地と沙漠

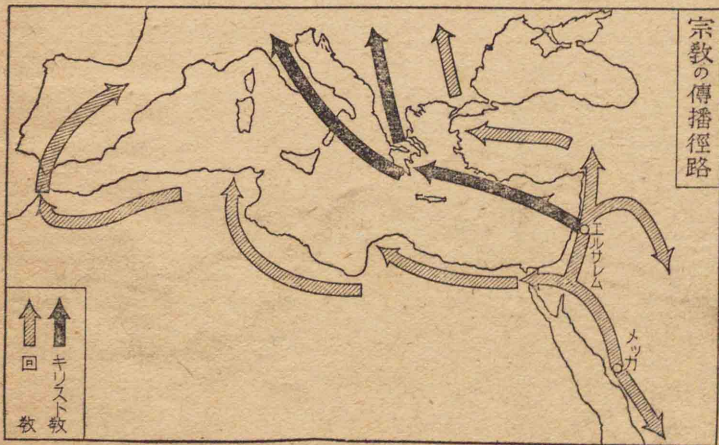


り、ヨーロッパの勢力範圍は目に見えて縮まつて來た。

地圖を見ればわかるやうに、アフリカは殆ど全部がヨーロッパ諸國の植民地である。一、二の獨立國も實は英國・米國などの支配を受け、二百萬にも足りないヨーロッパ人によつて、一億數千萬の原住民が左右されてゐる有様である。即ち、隣り同士のヨーロッパとアフリカとは、本國と植民地支配するものと支配されるものとの關係にある。

その境をなす地中海は、又ヨーロッパとアフリカがアジアと會合する所でもある。

沿岸の地域は、ヨーロッパ文化の發祥地であり、昔はヨーロッパ文化の中心地であつたといはれるが、こゝに發生し繁榮したヨーロッパ文化も、その源泉は實にアジアにあつたのである。かうしたアジアの古い文化を受け繼いだヨーロッパ人は、幾たびか海を渡つて北アフリカをその領土としたが、一方またアジアに興つた回教徒のアラビヤ人は、北アフリカ一帯に發展し、イベリヤ半島に渡つて數百年の間そこを治めたこともあつた。即ち、地中海は、アジアに興つた文化や宗教が外界にあふれ出た出口であり、歐阿を切り離してゐるやうであつて、その實なかたちとなつて、兩者を結びつける役割を果



宗教の傳播徑路

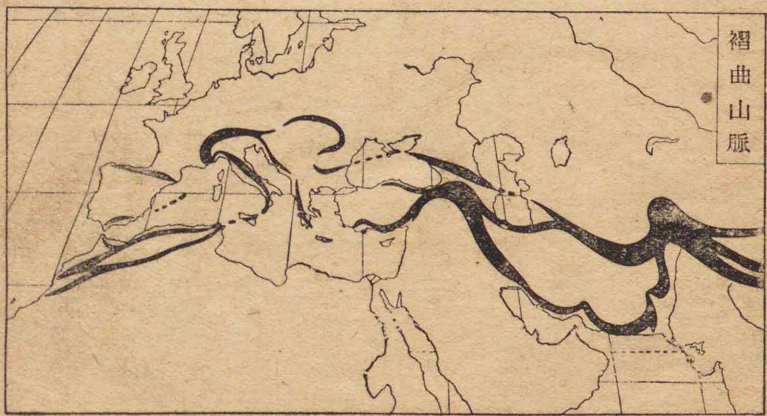
して來た。つまり、地中海の兩岸はもと／＼互に密接な交渉をもつ一つのまとまつた地域なのである。

アルプスの山

のである。



今、これを自然の方面から見ても、世界の屋根といはれるアジアのパミル高原から西に連なる褶曲山脈は、小アジアのタウロス山脈を経てジナールアルプスへと續くものと、コーカサス山脈からクリミヤ半島を経て、バルカン山脈ト



褶曲山脈

ランシルバニヤアルプスへ続くものが合一して、そこにヨーロッパ最高のアルプスを形づくつてゐる。その續きは大屈曲をしてアペニン山脈となり、シチリヤ島を経てアフリカ最高のアトラス山脈となり、更にその先はぜんまいのやうに曲つて、イベリヤ半島のシエラネバダ山脈へと續く。このやうに地中海地域は、アジアに發源するものの伸び行く先であり、又ヨーロッパとアフリカとは褶曲山脈によつても一つに結び合はされてゐるのである。

この高くそびえる褶曲山脈を骨組とする地中海地域は、そのほかにどんな特徴をもつてゐるであらうか。一般に山がちであるから、二、三の大川の流域以外には大平野はない。大部分の河川は小さく、短く、急流であつて、その上、水量の季節的變化が著しいから、利用價值のあるものは少い。氣候は地中海性と呼ばれる獨得のもので、冬は暖かく、雨がやゝ多く、夏は暑く乾燥して毎日毎日晴天が續く。川も夏は水がかれてしまふ。かう

いふ氣候は産業、殊にこの地域の主な産業である農業に影響して、特殊な地中海式農業が行はれる。このほか、牧畜も廣く行はれるが、林業などは發達してゐない。工業も、石炭や鐵などの原料が豊かでないので發達がおくられてゐる。

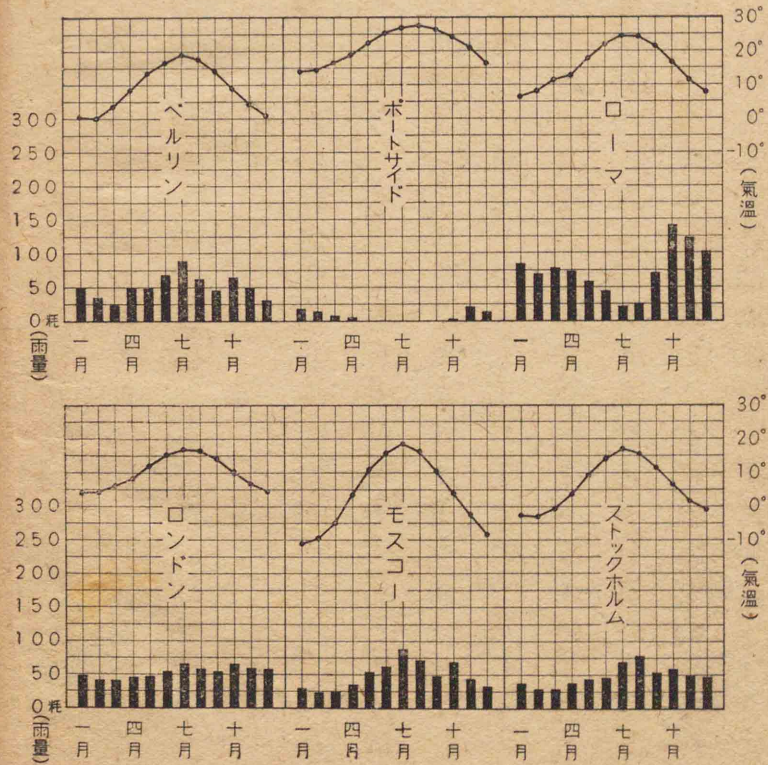
地中海地域の北にある地方は、造船航海術などの進歩によつて、大洋の交通が自在になつてから、ヨーロッパの中心となつた地方で、そこには地中海地域のラテン族アラビヤ族に對し、主としてチュートン族スラブ族が住み、多くの強國が次々に建てられた。

スカンジナビヤ半島からイギリス諸島に至る山地と、フランス中央高地、ライン中流沿岸の高地などのほかは、一帯の平原であり、世界でも最も平野の多い地域の一つである。多くの大川は緩やかに流れ、どの川も船が通ふので、平野の廣いことと共に、住民の活動に都合がよい。又、沖合には魚族の集る淺海を控へ、海岸線の複雑なことも世界一で、港灣に富んで

ある。

その上、平野が東西に連なつてゐるため、大西洋上の空気は遙か内陸にまで流れ込むので、気候は緯度の割合にはかなり温和で、夏冬ともに降雨がある。もちろん、大西洋岸は冬暖かく、夏涼しく、雨も一番多い。東に進むにつれて次第に夏冬の気温の差が増し、雨が少なくなつて、海洋性の気候から東歐の大陸性の

主な都市の気温と雨量



の氣候に移り變つて行く。又、南から北へ行くにつれて夏の気温がいよ

いよ低くなり、中歐の温帯性の氣候から北歐の冷帯性の氣候に變化して行く。このやうに、場所による違ひはあるが、全體としてみれば、歐阿のうちで最もよい氣候に恵まれた所である。

産業も農牧・林・漁ともによく發達し、又、石炭や鐵鑛を豊富に埋藏してゐる地域があるので、大きな工業地帯が幾つも出來て、世界工業の大中心地となつてゐる。交通もこれに伴なつて高度に發達してゐる。これに對して、地中海地域の南に續く中南アフリカは、開發の歴史の新しい土地である。東部にやゝ高い土地があり、海岸に僅かに狭い平野があるほかは、殆ど全體が臺地になつてゐる。大川は多いが、臺地の縁で急流や瀧になつてゐるので、海からさかのぼることができず、探検や開發をさまたげた原因となつてゐる。又、海岸線も非常に單調である。

この大陸の中央を赤道が横ぎつてゐるので、氣候は、年中非常に雨の多

い赤道地帯の高温の氣候から、南北へ向かつて、乾季・雨季の別ある氣候、次に殆ど雨の降らない乾燥氣候、更に地中海性の温帯氣候へと移り變つてゐる。ヨーロッパが殆ど温帯性か冷帯性なのに對して、アフリカは大部分が熱帯氣候か乾燥氣候で、密林や沙漠のやうに利用の困難な所が廣い面積を占めてゐる。

随つて、面積はヨーロッパの三倍もあるが、人口はその三分の一にも足りない。それも北部から北東部へかけて住むアラビヤ人を除けば、大部分が黒人である。開發が部分的にしか進んでゐないのも、かうした事情によるところが多い。

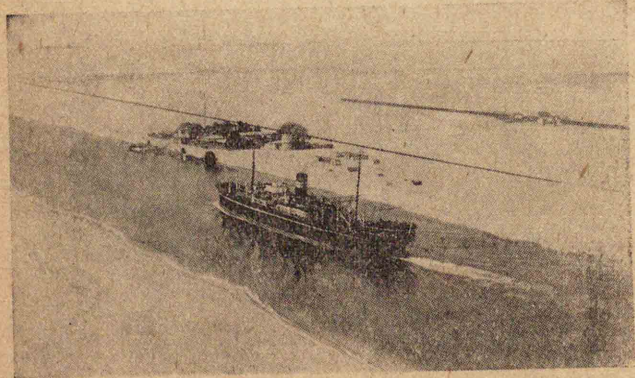
歐阿は地形や氣候のためばかりでなく、歴史の上からも、古くからその中心であつた地中海地域と、その後大洋航海の發達につれて中心になつたそれ以北と、ヨーロッパの植民地であるそれ以南との三つに分けて考へることができる。

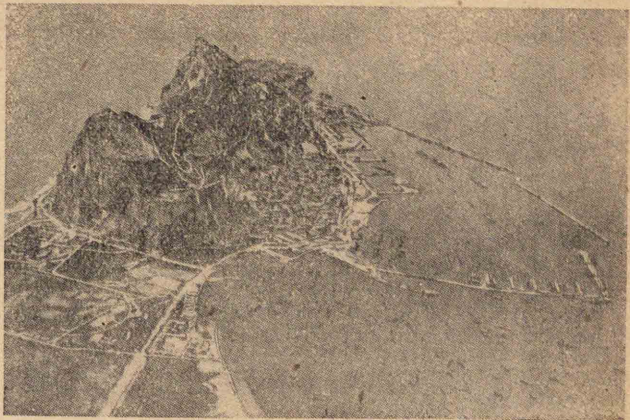
三 地中海地域

地中海は、アジアとヨーロッパとアフリカとの間に横たはる内海であり、その延長はスエズからジブラルタルまで約三千六百キロ、幅も廣い所は一千六百キロに及んでゐる。本國と植民地との連絡路として、また大西洋やインド洋、更に太平洋への通路として、地中海の價値は昔にもまさつてゐる。

随つて、この地域に利害の多い列國は、地中海を勢力下におくことに苦心して來た。特に英國は、スエズ運河の開通によつて、インド洋と大西洋とが結ばれると、東洋の植民地と本國とを結ぶ動脈

スエズ運河





ジブラルタル

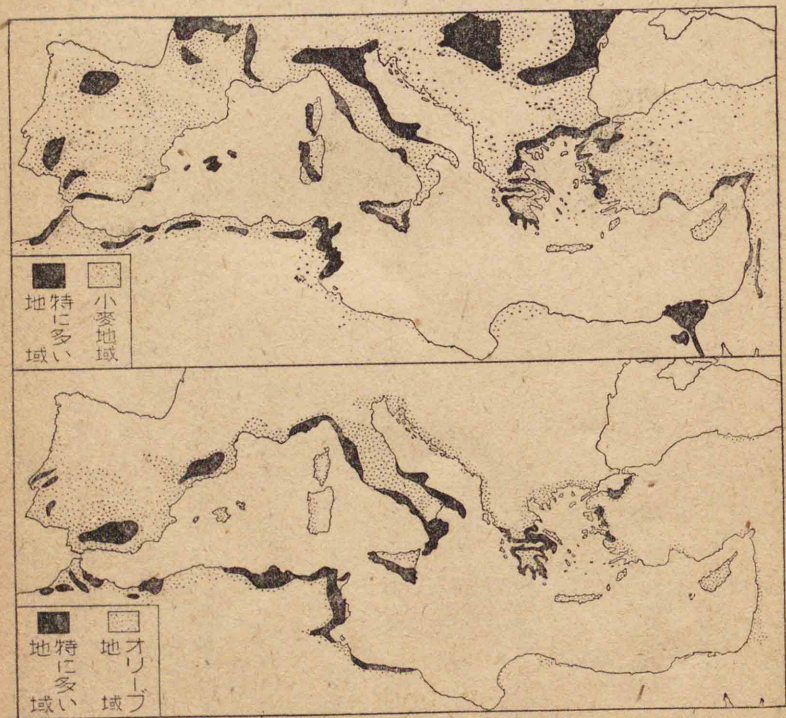
はなか／＼に苦心が在る。土地が山がちであるから、山地の間に丹念に小さな島を切り込んである。主食物である小麦を作るためには冬の雨

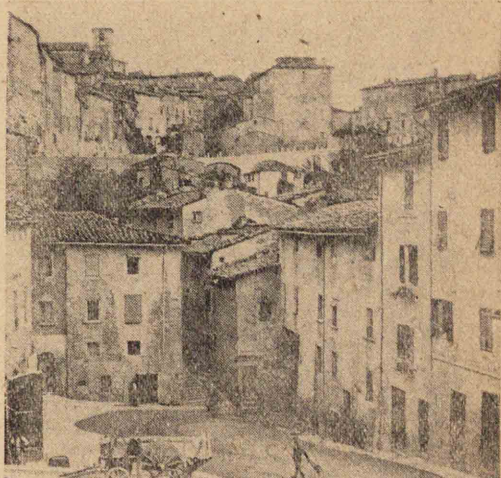
としてこれを確保するために、西の出口ジブラルタルに要塞を築いたり、マルタ島などの海上の要所に軍事基地を設けたりなどした。このことは地中海地域の中央にあるイタリヤにとつては、国土の防衛と物資の確保とをおびやかされることである。

かうした地中海地域の自然に眼を注ぐと、到る所山がちで、平野は至つて少い。気候も地中海性で、雨の分量も少いし、又、永く降り続くこともない。

農業で立つてゐる地域であるが、その經營に

を利用してゐる。しかし、一般に雨が足りないから灌漑に並み／＼ならぬ骨折りをしてゐる。川の水は多くの用水路に分れ、そのために下流では水のなくなることが多い。小麦に次いでばたらもろこしもよく作る。又、夏の乾燥がひどいので、それにとへられるオリブ・オレンジ・レモン・いちじく・ぶどう・コルク欄などを穀物の作りにくい傾斜地に廣く栽培し、そ





石で造られた町

そなへたのがイタリヤである。

イタリヤの半島を貫ぬくアペニン山脈は、火山帯と地震帯とを伴なふ山地であり、北境には高いアルプスの連山がそびえてゐる。その間のロンバルジヤ平原は、アルプスに源を發するポー川の流域に當り、水に恵ま

れが、この地域の特産となつてゐる。山の牧草地や麓の牧場では、羊・山羊・牛そのほかの牧畜が盛んである。

地中海地域には到る所に石材が豊富に産出するので、この氣候とよく調和した美しい町を各地に造りあげてゐる。しかし、鐵・石炭を始め、一般に鑛産物にとほしいので、工業は全般的に餘り發達してゐない。かういふ地中海地域の特徴を最もよく

れた農耕地で、小麥などのほか、米も作られ、又、養蠶も行はれる。工業も大部分こゝに集つてゐる。石炭の代りに水力電氣を利用する絹人絹綿毛の紡織は、ミラノを中心とする工業の代表である。平地にとほしい半島部では果樹の栽培が盛んである。

大理石・硫黄・水銀などの産出は世界有數であるが、鐵・石炭などの鑛産物にとほしく、工業上また國防上の弱みとなつてゐる。

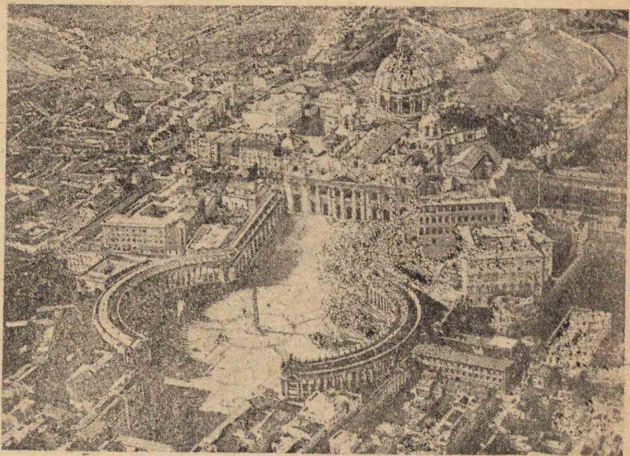
かうした國土に四千五百萬の人口があり、その密度が極めて高く、しかも豊かな植民地をもつてゐないので昔から人口過剩に苦しみ、移民は歐阿に、アメリカに、盛んに進出した。

産業の上で恵まれぬ國土も、

氷雪に輝くアルプスの高峯や、水銀その影をうつす山間の湖水、又ベスピヤス・エトナの火山など

硫黄と水銀の産額





ローマ法王廳

建て、それ〴〵山脈に包まれた小さな地域に孤立して住み、各、その傳統と文化とを固守して來た。随つて國境の移り變り、國家の興亡は目まぐる

の自然美に加へて、ローマ・フィレンツエ・ミラノなどの昔の文化を傳へる建築や美術に富む觀光地が多い。

首府ローマの市内には、ローマ法王廳のあるバチカン市國がある。世界最小の獨立國であるが、宗教外交の上では大きな力をもつてゐる。

イタリヤ半島の東にあるバルカン半島は、アジアとヨーロッパとを結ぶ橋の役目をしてゐる。このため、古くから亞歐の諸民族が往來したばかりでなく、互に侵入しては國を

しく、強國の勢力も入り混つて、紛争が絶えない。

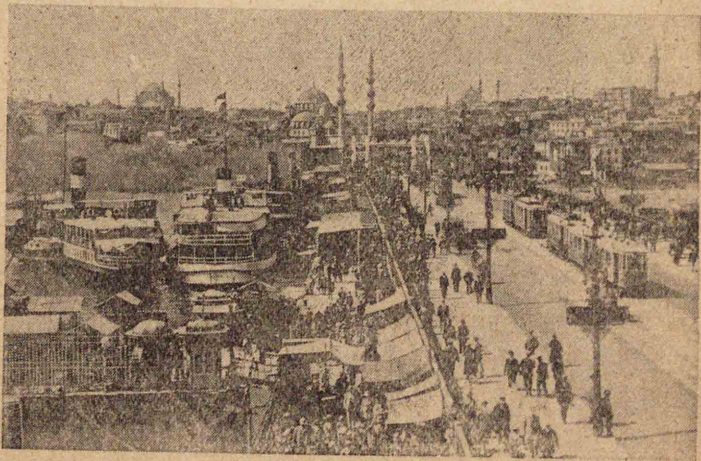
海に近いトルコ領や、ブルガリヤ、ギリシヤ、クロアチヤは、地中海式の農業を行ふ地域で、煙草などの特産もあるが、ドナウ川の流域に當るルーマニヤや、クロアチヤの北東部からハンガリーに續く平野になると、氣候もよほど大陸性となり、小麥大麥、たうもろこしなどの穀物を多く産し、輸出も多い。

鑛産物ではルーマニヤの山麓地方の石油、岩塩などが主である。石油の需要が多いのに、産額の至つて少いヨーロッパにとつて、この油田は極めて重要である。工業はヨーロッパとしては最もおくれた地位にある。トルコ領のイスタンブールに見る西亞風の建築や風俗、ギリシヤのアテネに見るアクロポリスの遺蹟などは、この地域の昔を物語つてゐる。

地中海と大西洋とを隔てるイベリヤ半島の二國、イスパニヤとポルトガルとは、古くから海洋に活躍し、コロンブスやバスコダガマなどの探検

船を派遣して、アメリカ大陸や太平洋の島々を始めて見つけ、大きな植民帝國を建設した。わが國へ最初に渡來したヨーロッパ人もこれらの國人であり、キリスト教をひろめ、鐵砲を傳へたことなど、よく知られてゐる通りである。その後、國が亂れ、海外の主要な領土を失ひ、今は共に國勢が振るはない。

國土は丘陵が多く、平野にとぼしい。主要な産業は農牧業であるが、しかも穀物は常に不足し、南アメリカから多く輸入してゐるのが大きな弱點である。主な河川の流域には、ぶだうの栽培が盛んであり、オリーブやオレングジなどを産するのにも地中海地域に共通の特徴である。コルク櫛はこの



イスタンブール

コルク櫛はこの

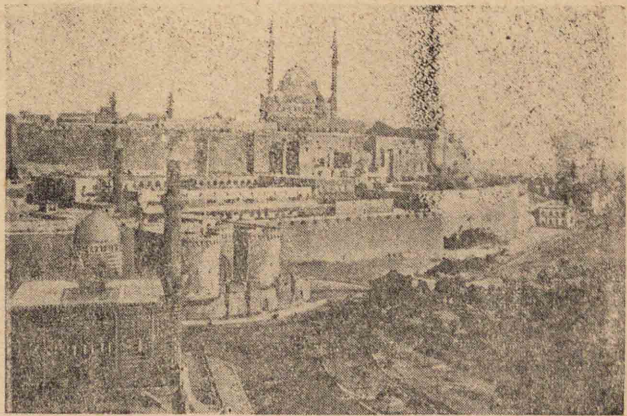
地方の特産で、世界産額の大部分を占めてゐる。イスパニヤには鐵、銅、水銀などの鑛産物があるが、鑛石のまま輸出されてゐる。

北アフリカのバーバリ地方は、従來イタリヤ、フランス、イスパニヤなどによつて植民地として分割領有された所で、主として農牧が行はれてゐる。鑛産としては燐礦と鐵鑛とが重要な資源である。

その東にあるエジプトは、大部分が不毛な沙漠であるが、ナイル川が毎年氾濫するので、河谷と三角洲とは非常に肥沃であり、太古から農耕文化の培はれたのも、かうした關係からである。上流にダムを設けて水量を調節し、廣く灌漑を行ふやうになつてからは、殊に綿さたらきび、煙草、小麥などの産が多くなつた。

首府カイロの附近には、雄大なピラミッドやスフィンクスなどが、輝かしかつた昔の面影を残してゐる。

スエズ運河は、この國の東部の狭い地峽に、湖を利用して造られた延長

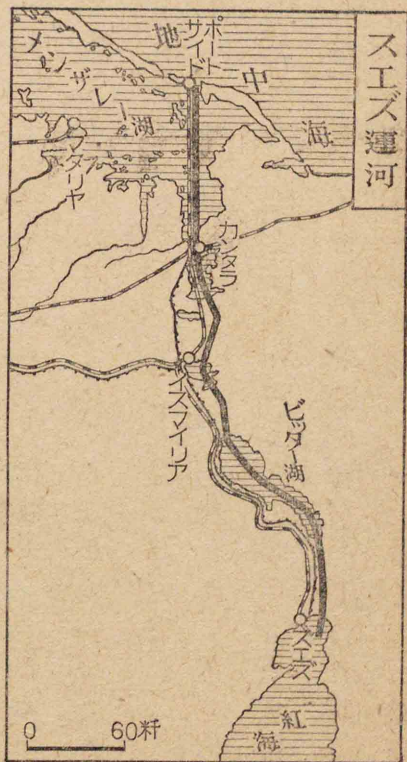


カイロ

地位にあるが、そのために却つて英國の支配力を強く受けてゐる。

約百六十キロの大運河で、フランス人レセツプが開いたが、その後、運河經營の實權は英國の手に移つた。

エジプトは運河のある國として甚だ重要な



四 中歐地域

地中海地域の北境をなして長く東西に連なるアルプスの山系と、大西洋・北海・バルト海との間には、森の美しい高原と、廣い中部ヨーロッパの平原が開けてゐる。こゝにドイツを始めとして、フランス・ベルギー・オランダ・デンマーク・ポーランド・スロバキヤ・ハンガリー・スイスなどの國々がある。中立國のスイスを除けば、これらの國々はドイツに協力してゐるか、その保護を受けてゐるか、又はドイツ軍に占領されてゐるか、のいづれかであるから、ドイツを中心とするその勢力圏とみる事ができる。

この前の歐洲大戰の結果として、中歐地域は細かく分割され、工業地や原料産地や食糧産地がそれごとく切り離されて、各國は産業の片寄つた、自給力の弱いものとなり、貿易の不便も手傳つて健全な發展をさまたげられるやうになつてゐた。それらの地域が今やドイツを中心として結び

合はされたので、さうした不都合がなくなり、各地はそれらの特徴を發揮するやうになり、中歐地域全體としての産業の力は、數倍に強化されるに至つた。

中歐地域は、西と北との海が氣温を調節するばかりか、大西洋の暖流の上を渡つて來る西風が、山脈にさへぎられることなく、一年中内部まで吹き渡るのて、北にある割合に暖かい。中歐と滿洲とはほぼ同じ緯度に當るが、ベルリンの年平均氣温はもつと南にある新京より四度も高いのである。南の山地は緯度は低くなるが、それだけ土地が高くなるので、氣温は北部の平野と餘り變らない。

雨は西風の影響で大西洋沿岸地方に多く、東に移るにつれてだん／＼少くなる。多いといつても、わが國に比べれば半分以下である。大體、滿洲や北支那と同じく、雨が、或る季節に片寄らずに降ると思へばよい。

そこで中歐地域の氣候を分けてみると、先づ大西洋岸からフランスの眞中までが溫和な海洋性氣候で、變化にとほしい。次にドイツの眞中までが適度な變化のある氣候で、それから東は變化がやゝ大きく、雨も少くなり、次第に大陸性を帯びて來る。南のアルプス一帯は寒冷な高山氣候である。

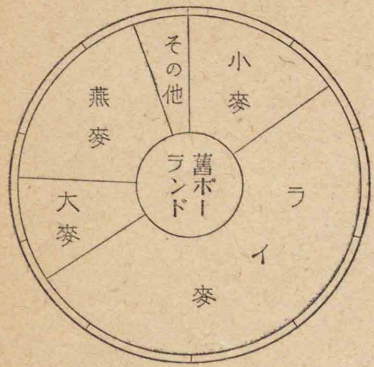
地中海地域と異なり、廣い平野のあることと、夏に雨の多いことだけでも、中歐地域の農業は、恵まれてゐる。工業が榮え、交通が開けても、なほ農業は多數の人口を支へて行くのに最も大切な産業であるから、中歐の各國は農業の發達に努力してゐる。東亞に次いで人口の多いこの地域の農業は穀物を主としてゐる。土地はもと／＼必ずしも肥えてはゐないが、永い間の經驗と努力とによつて、耕地の割合に收穫が多い。しかし、人口が多いために、他の地域からの食糧輸入を全く絶つことはむづかしい。氣候が西から東へ變つて行くやうに、農業も西のフランスでは小麦が

主であり、ドイツにはいるとライ麦が多くなり、東に行くに従つてライ麦と大麥とがふえ、そのほか亞麻・大麻が現れる。作物は種類が多く、小麥・ライ麦・大麥・燕麥・甜菜(じやがいも)などが最も普通で、一軒の農家を見てもさまざまのものを作つてゐる。農家の仕事として牛や豚を飼ふ

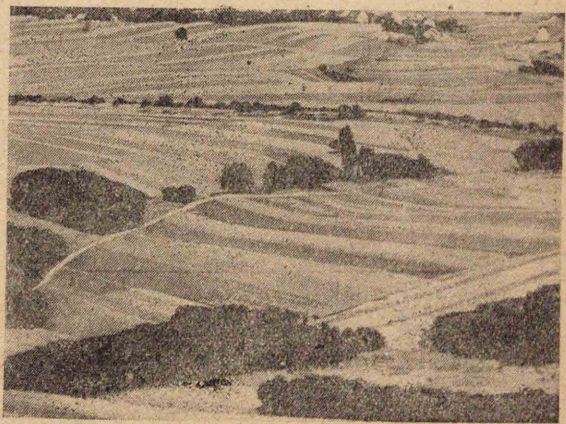
麥類の耕地の割合

ことも盛んである。

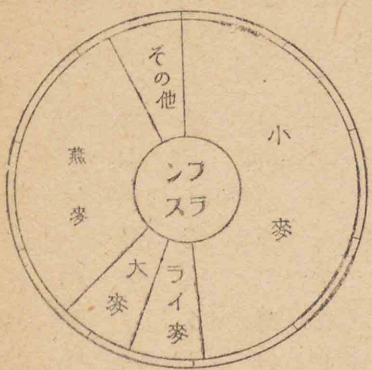
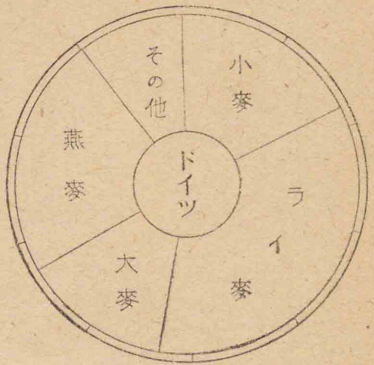
フランスはもとく



農業國で、國土の約四割は耕地であり、國民も約四割が農業に従事してゐる。ドイツはこの前の歐洲大戰に食糧の不足で非常に困つたため、食糧自給を目標に農業を奨励し、耕地や牧場が著しく



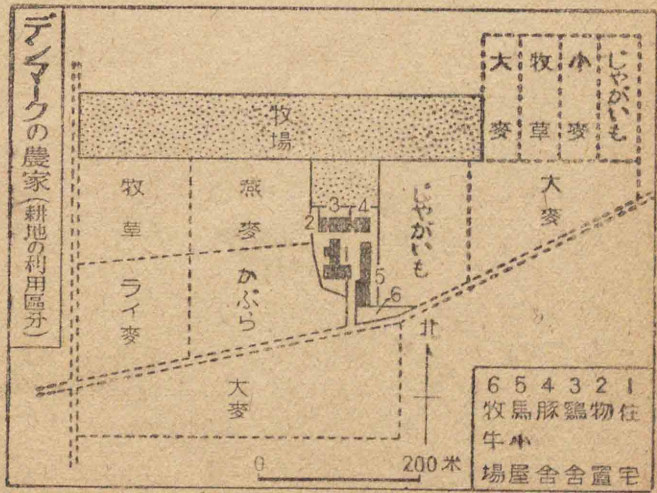
ドイツの農村



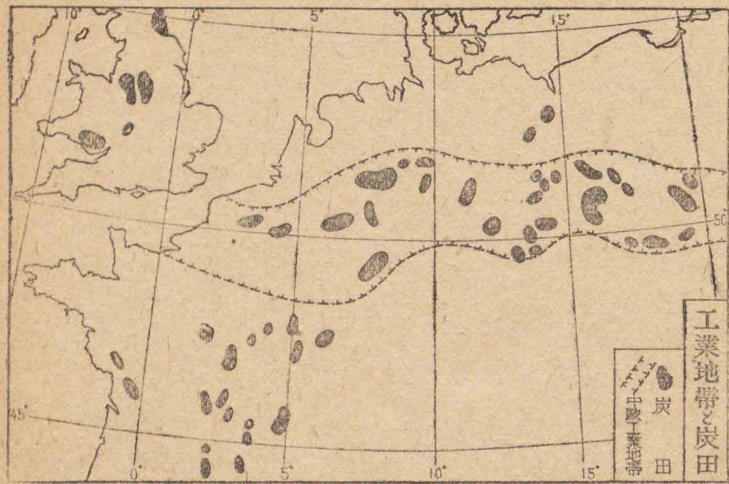
擴げられた。又、所により特別な作物や特別な農業の仕方もある。フランスの南部は地中海式の農業を行ひ、且つ野菜の栽培に力を入れてゐる。オランダは野菜・果樹園藝の國である。ハンガリーが小麥とたうもろこしとを主としてゐることも、バルカン半島と比較して考へれば、すぐわかるであらう。ドイツの南部にはホップの産が多く、ミュンヘンはビール醸造の中心である。ライン川の中流地方は、ぶどうの作られる最北限であるが、緯度からいへば、樺太の國境よりもなほ北に當つてゐる。デンマークは特別な農業國で、その農業の仕方には世界の模範となつてゐるところがある。面

積は九州よりも小さく、その上、土地がやせ、
 氣候も中歐では一番寒いが、植林や埋立て
 をして土地をよくし、農業教育につとめ、産
 業組合を作りなどして農業を盛んにした。
 さまざまの作物を作りながら家畜や家禽
 を養ひ、乳製品や肉類や鶏卵などを輸出し
 てゐる。わが國でも、デンマークの農業の
 長所を取つてよくなつた村々がある。オ
 ランダやフランスの北部やスイスなども、
 デンマークのやうな農業を行つてゐる所
 が多い。

西洋文明の中心が中歐地域に移つて來たのは、主に工業の力であらう。
 さうして、その工業は石炭と關係が深い。アルプスの高い山脈と北部の



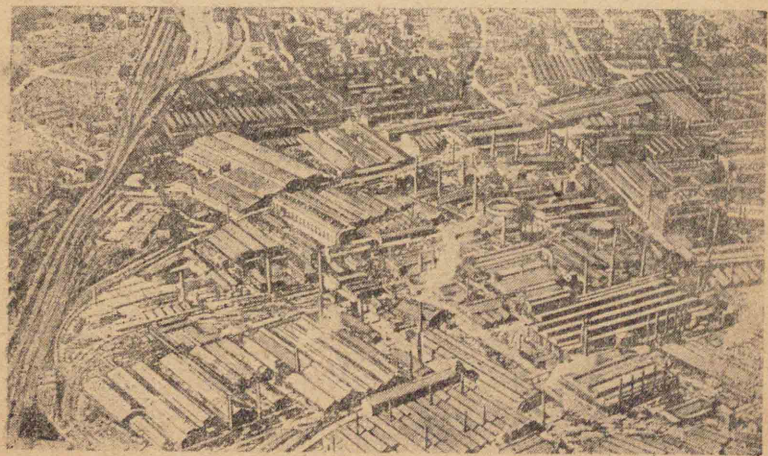
廣い平野との間には低い山地があり、その北麓に沿うて多くの炭田が東



西に一列に並んでゐる。それに伴つて
 製鐵・製鋼を始め、機械工業そのほかの重工
 業が發達してゐる。シレジエンから西へ
 ザクセン・ルールへと引いた線は、ポーラン
 ド・ドイツ・ベルギー・北フランスの重工業地
 帯を連ね、この線を延せば、英國の工業地帯
 も貫ぬくことになる。この重工業地帯の
 兩側には、化學工業や輕工業の地帯があり、
 ガラス・藥品・紡織・製粉・製糖工業などが盛ん
 である。地圖を見れば、狭いベルギーが、ち
 やうどこの帯の中にあつて、その南半分には
 リエージュのやうな製鐵・機械工業の都

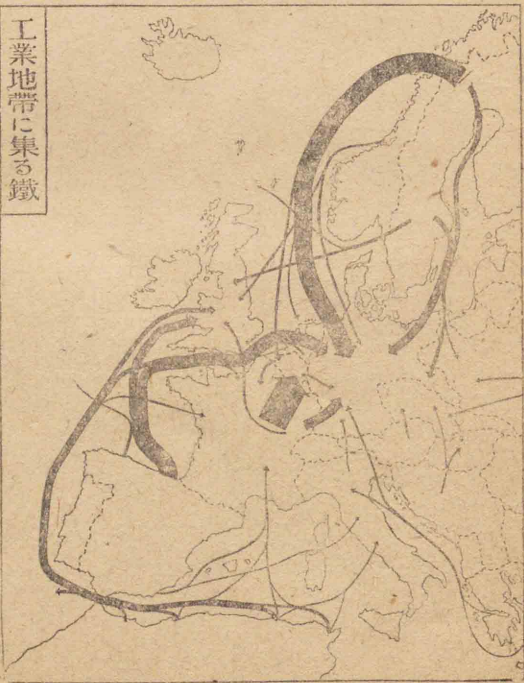
市があり、北半分にはブルッセル・ガンなどの紡織業の都市がある。

工業原料としての鐵鑛の多いことも、この地域の工業を發達させた重要な原因である。特にローレンの鐵鑛床は、世界屈指の大規模なものであつて、ザール・ルールの炭田に近いために、鑛石はそこに運ばれて、最も盛大な工業地域を作り、エッセンなど多くの工業都市を發達させてゐる。そのほか、鐵鑛はシレジエン・ボヘミアなどの各地に産出してゐる。しかし、それでもなほ足りないので、まだ工業の餘り發達してゐないイスペインヤやスウェーデンから多量の鐵鑛が輸入されてゐる。



エッセン

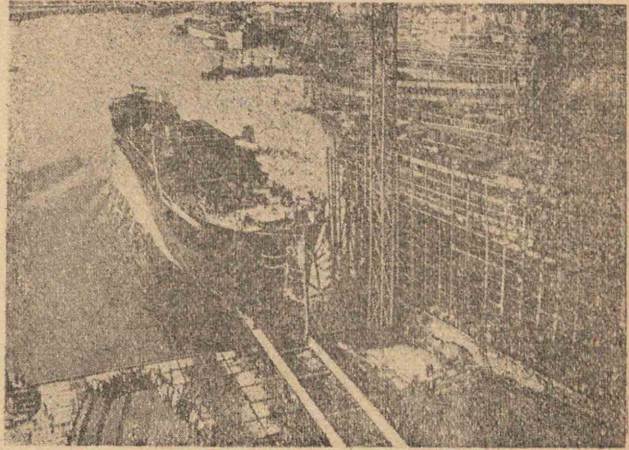
又ドイツの加里塩、岩塩の産額は世界的で、化學工業の原料として大切である。しかし銅を始め、一般に金屬が不足してをり、石油も殆ど産出しない。随つて、この地域に隣るルーマニアの油田が、重要性をもつのである。



工業地帯に集る鐵

紡織業の原料である綿や羊毛は、大部分開拓の新しい他の大陸から輸入する。南部の山岳地帯やポランドの北部などには、廣い森林があり、木材及びそれを原料とする工業も行はれてゐる。

平野が廣く、河川は水量が豊富で、流れも緩やかであるから、水運の便が



ドイツの造船所

連ね、貨物輸送の大動脈をなしてゐる。川口附近には商港都市が多く、造船業の榮えてゐる所も多い。

よく、その上、運河で互に結びつけられてゐる。例へばドナウ川はライン川と結ばれて、川船は黒海と北海との間を行きかひ、ローヌ川はセーヌ川と結ばれて、地中海からフランスを横ぎつてイギリス海峡に出る。そのほかの河川も運河と一しよになつて海を



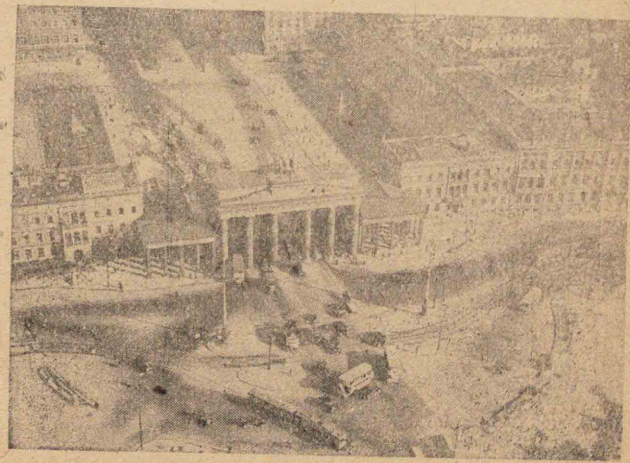
ドイツのハンブルグ、オランダのロッテルダム、ベルギーのアンベルス、フランスのマルセイユなどは、その例である。

鐵道は網の目のやうに全地域をおほひ、更にトンネルでアルプスを抜けて、地中海地域との交通に役立つ線も多い。航空路も主要な都市を縫つて縦横に發達してゐる。

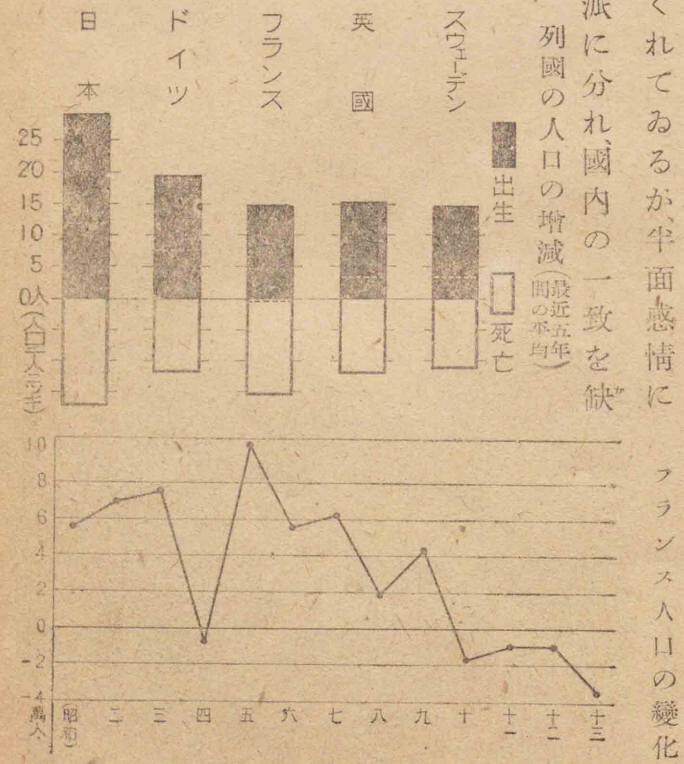
ドイツには八千七百萬の人口がある。ドイツ人は着實勤勉で、學術にすぐれてゐる。同時に武をたつとび、愛國心が強く、國民の團結が固い。近代ヨーロッパの文明の中心となつて榮えたばかりでなく、アメリカ大陸その他に多く移民を送り出して、それらの地域の發展に盡くしてゐる。前歐洲大戰にやぶれ、歴史始つて以來最も苛酷な講和條約を強制され、國內は窮乏に苦しんだが、しかもその苦境から立ちあがつて國力の回復をはかり、無理に分割された中歐の地域を次第に取り戻して、今では廣大な占領地をも統治してゐる。

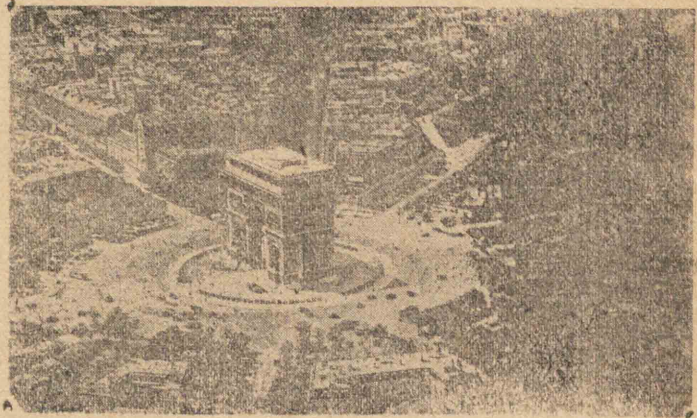
人造石油や窒素工業は甚だしい天然資源の缺乏を化學の力で打ち破つた好例である。紡織原料の不足なこの地域で、盛んに代用纖維を作り出す得意の化學工業もまた、全地域を率ゐて行く上に大切である。首都ベルリンは世界有数の大都市で、全ヨーロッパの核心をなしてゐる。

フランスは古來農業國として立ち、北東部と中央高地とでは、工業の發達も目ざましいが、ヨーロッパの強國としては、人口密度が甚だ低い。殊に近年は人口の自然減少が見られ、國家の前途に不安が感じられたので、その増加にあらゆる努力をしてゐるが、なほ減少の傾向が止らず、この國の大きな悩みとなつてゐる。隨



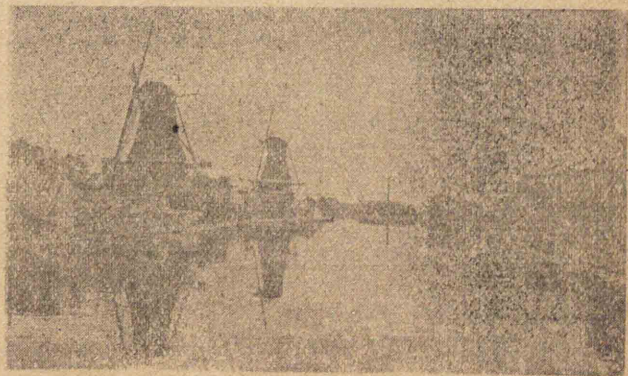
つて人命を惜しむやうになり、戦いのぞんで守勢の立場を取つたことは、かのマジノ線の構築などによく示されてゐる。フランス人は藝術にすぐれてゐるが、半面感情に走りやすく、常に多數の黨派に分れ、國內の一致を缺いたことも、團結力の強いドイツの前に、もろくもやぶれた一つの原因とみられる。セーヌ川に沿ふ首府パリは、美しい都として世界に有名である。中央高地のビシーは、ドイツ政府のある都市である。





ハンガリーの住民は、マジャール族で、アジア人に属することを誇りとしてゐる。純粹じゆんじゆの農業國で、土を尊ぶアジアの民の特徴をよく現してゐる。

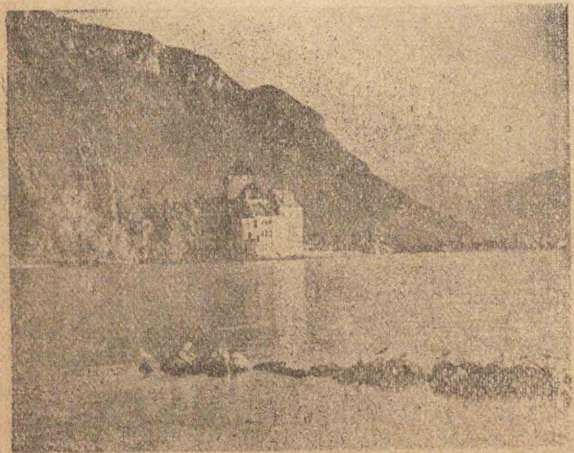
オランダは國土が低濕で、四分の一は海面よりも低く、堤防で海水を防ぎ止めてゐる。國內には運河が縦横に通じ、風車や動力を使つて排水を行ひ、低濕地を牧場に利用してゐる。かつては海外に發展して廣大



オランダの風車と運河

な植民地をもつてゐたが、方針を誤つて米英に頼り、本國をドイツに、東インドの植民地をわが軍に攻略されるに至つた。オランダは江戸期にわが國と通交した唯一つの西洋の國であつた。スイスはアルプスの連山を負ひ、多くの湖をたゞへ、青い湖面には雪に輝く山々の姿を浮かべてゐる。風光の美しい國として知られ、随つて、観光業はこの國の重要な事業の一つとなつてゐる。アルプスの斜面には牧場が多く、夏、牧草を追うて山に登り、冬、雪の來る前に麓に歸る牧牛も、主要な産業の一つである。山地の豊かな水力を利用して工業も行はれるが、運搬の不便から、重量の軽い精巧な織物や時計のやうな精密器械を主としてゐる。

スイスの湖



る。住民は大部分がドイツ人で、フランス人、イタリヤ人も住み、獨佛伊の三國語が用ひられる。永世局外中立國であるので、首府のベルンやジュネーブなどには國際的な役所が集つてゐる。

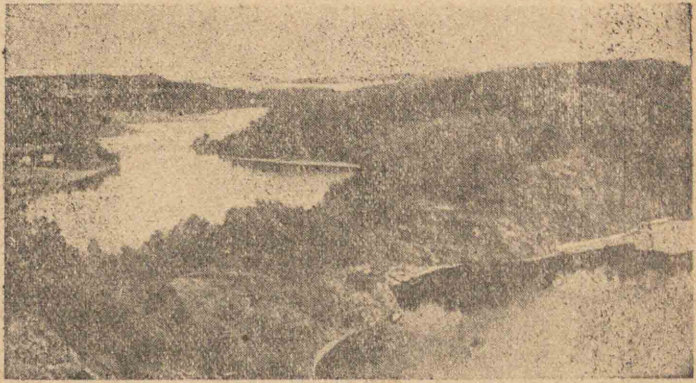
◎ 五 北歐地域

大きなスカンジナビヤ半島と、その根もとに當る地方一帯を占めるフィンランドとを含む北歐地域の地圖を開いて見よう。

峽灣



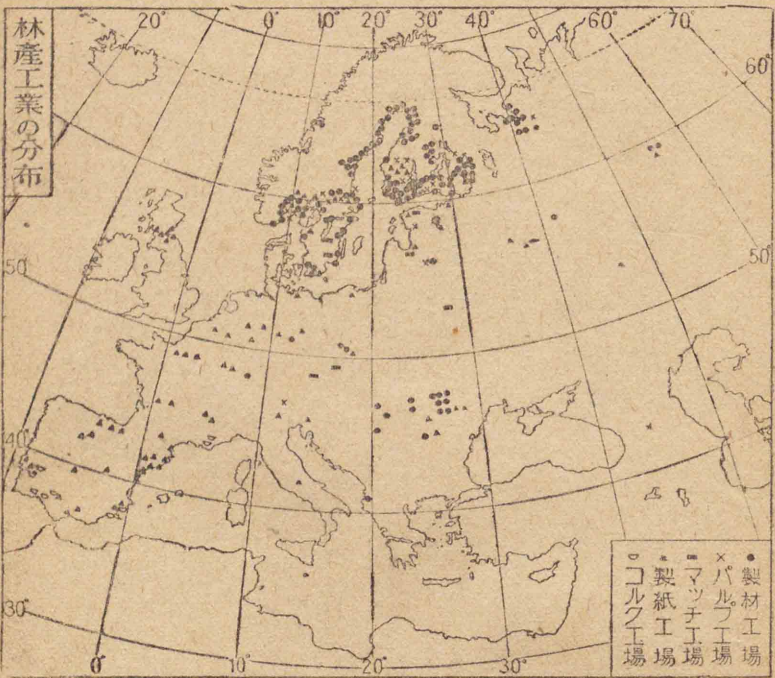
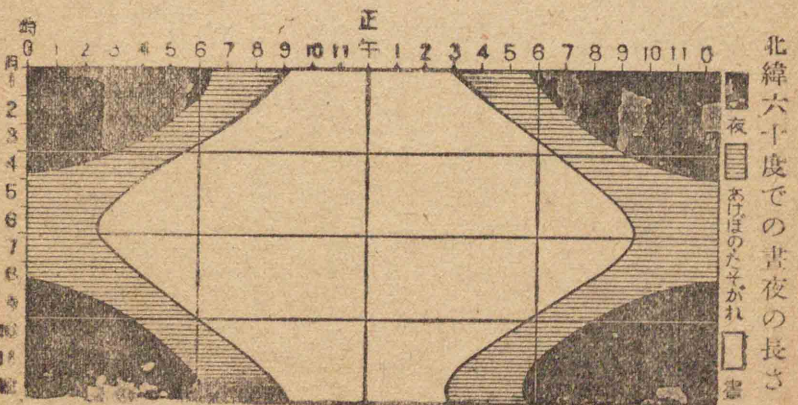
この湖や海岸の切れ込みは、アルプスの山の中にある湖と同じやうに、大昔氷河におほはれてゐた時のなごりである。海岸の切れ込みは峽灣はつたといはれ、高い崖たけに囲まれた海が陸深くはいり込んでゐるのは、壯大な眺めである。この峽灣や、森の中に見えがく、小さな湖は、この地方の美しい



湖と森

西風のために割合に溫和で、海も凍らない。

い自然の特色である。この地域は、緯度によつてもわかるやうに、甚だしく北に片寄つてゐるから、寒い上に冬が長い。十一月頃から四月頃まで、山脈の東側にあつるスウェーデンやフィンランドは、國全體が雪におほはれ、海も川も凍結する。しかし西側のノルウェーでは、暖流や



又季節によつて晝夜の長さが非常に違ふ。殊に北極圏内の地方では、夏は一日中太陽が見えるが、冬には反對に晝がなくなる。からいふ不良な氣候や、全土に廣がる濕地荒地などのため、農業は南部海岸の小平地に僅かに行はれるだけで、食糧は各國とも輸入に頼つてゐる。この地域の主な産業は林業と鑛業と漁業とである。殆ど全土をおほふ森林と、盛んな水

力發電とによつて、製材やバルブ工業が榮え、バルブの産額は世界有數である。

スウェーデンの北部・中部には、良質の鐵礦が多く産する。ノルウェーは大西洋の陸棚にのぞむ好い位置にあり、又國土の大部分が荒地で農作ができないため、早くから海洋に發展し、漁船や商船の數も多く、その漁業と海運業の發達は著しい。

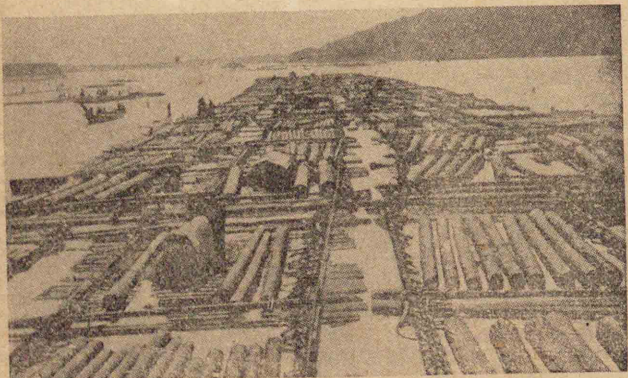
住民は氣候の關係上、各國とも南部に密集してゐる。恵まれない自然にたへ、勤勉で、運動競技の盛んなことは、よく知られてゐる。フィンランドの國民はアジア人であることを誇りとしてゐる。

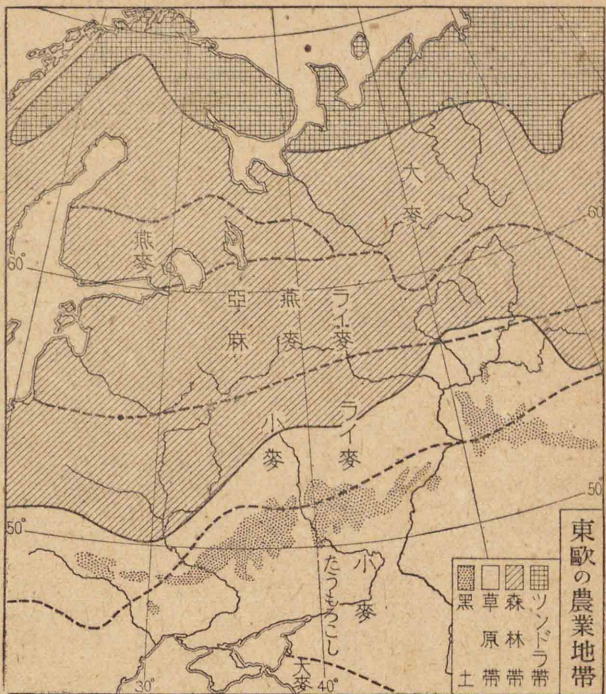
⑥ 六 東歐地域

シベリヤから西へ、低いウラル山脈を越え、ソビエト聯邦の主體をなす東歐地域にはいる。

中歐地域と北歐地域との東に續いてゐるが、アルプスの山系は南にはづれ、北歐の山地は海に没するので、一帯の平原續きとなり、その面積はわが本土の十數倍もあるのに、最も高い所でも、僅か三百メートル餘りといふ有様である。この中をボルガドンドニエブルなどの大川が緩やかに流れて、平野をうるほしてゐる。

大西洋から吹いて來る西風は、東西に長い中歐地域を渡る間に衰へ、その上ヨーロッパのうちで





ものが北から南へ行くにつれて幾段にも變つてゐる。一年の大部分凍つてゐる北極海の沿岸にはツンドラ帯があり、その南に幅の廣い森林帯が連なり、南部は草原帯となつてゐる。

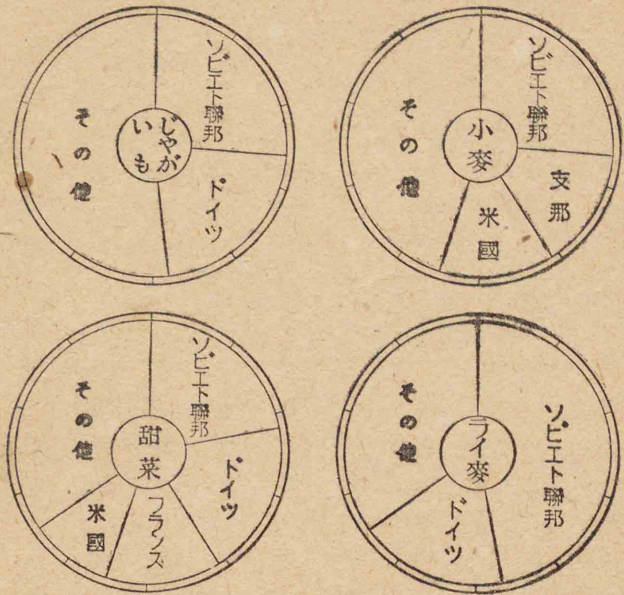
は、最もアジア大陸に接近した位置にあるので、全體が大陸性の氣候である。しかも、この地域の南端でさへ、北海道の北端に當つてゐるくらゐであるから、寒さは早く来て長く續き、南部でも三箇月、北部では半年の間川が凍る。

ツンドラ帯は殆ど利用のできない所である。次の森林帯の北半分は北歐地域の續きに當り、一帯が針葉樹のりつばな森林で、林業が行はれる。この地域の耕地では、寒さに強い大麥やじゃがいも、甘藍などが、期間は短いが、日照時の長い夏の間に作られるに過ぎない。

森林帯の南部は中歐地域の續きに當り、ライ麥を主とする農業地となり、小麥、燕麥、大麥、甜菜、じゃがいもなどを作つてゐる。草原帯は最も農業の盛んな所で、特にその中に東西に長く延びる黒土の地帯は、最も地味のよい所である。春小麥を多量に作るほか、大麥も作られる。クリミヤ半島やその東の地方になると、冬も小麥が作られるが、主として大麥を産する。草原帯の東の裏海に近い所は、雨が少く、牧草地として馬や羊が多く飼はれてゐる。

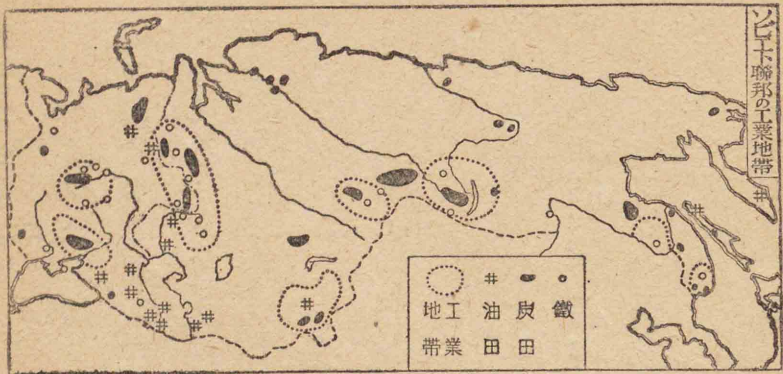
住民の大部分は農業に従事し、耕地の廣いことと相まつて、穀物を始め、甜菜や亞麻などの産額が非常に多い。工業地のほかは、どこでも食糧を

ソビエト聯邦の食糧の産額



自給してゐる。殊にウクライナや黒海北岸では小麦が豊富なので、黒海にのぞむ港オデッサから、ヨーロッパの各地へ輸出してをり、ドナウ流域の農耕地と共に、ヨーロッパの穀物倉と呼ばれてゐる。

近年ソビエト聯邦は、引き続きいはゆる産業五箇年計畫を實施したので、工業が目ざましく發展し、鑛物や水力の豊かな地方を結合して、大きな工業地帯を作り出した。スターリングラード・ハルコフ・キエフなどの附近一帯は、その最も大規模なものである。又モスコ・レニングラード・ウラル山地などの諸地方も工



業地帯をなしてゐる。これらの地帯は鐵、石炭が豊富で、水力電氣の利用も進み、製鐵、機械などの重工業を主とし、ほかに農業地帯の諸都市では、製粉、製糖、紡織などの輕工業が盛んである。かうして、ソビエト聯邦は古い農業國から近代工業國に躍進した。ドニエプル川に設けた大規模な水力發電所と、白海フィンランド灣を結ぶ大運河とは、ソビエトの技術を誇る二大工事である。工業地帯を結ぶ交通も、鐵道のほか河川は皆船が通ひ、多くの運河で連絡されてゐる。

ロシア共和國を主體とするソビエト聯邦は、亞歐の大陸にかけて世界の六分の一の面積を占めてゐる。この廣大な國土の中でも、石油マンガン

などの世界的大産地であるコーカシヤや、各種の鑛産物や林産物に富む西シベリヤなどは、特に重要である。産業五箇年計畫によつて、アジア方面の開発もまた目ざましく、各地に工業地帯が出現するやうになつた。かうしたシベリヤの開発は、東歐地域だけに頼つておたこの國の産業を著しく強化し、國防上また極めて重大である。これらの地帯を東歐地域と結びつけるために、シベリヤ鐵道そのほかの陸路を強化するばかりでなく、北極海にも部分的に航路が開かれてゐる。

住民中最も有力なのは、その過半数を占めるスラブ族のロシア人である。ロシア人は一般に鈍重どんぢゆうといはれてゐるが、アジア人に近い性質があり、あらゆる困苦にたへるねばり強さがある。國內には、そのほかヨーロッパ系や、アジア系の雑多な民族が住んでをり、これを治めるために、あまたの共和國や自治區域に分けられてゐる。しかし、ウクライナがやゝ有力であるほかは餘り振るはない。

◎七 イギリス諸島

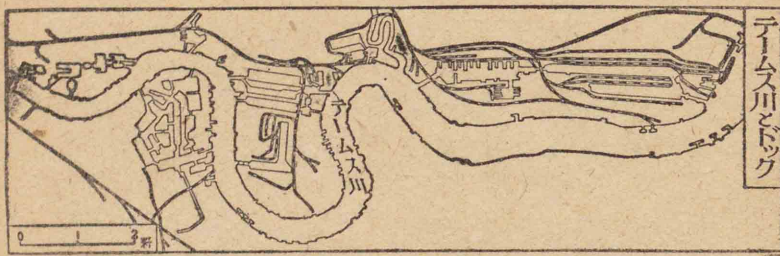
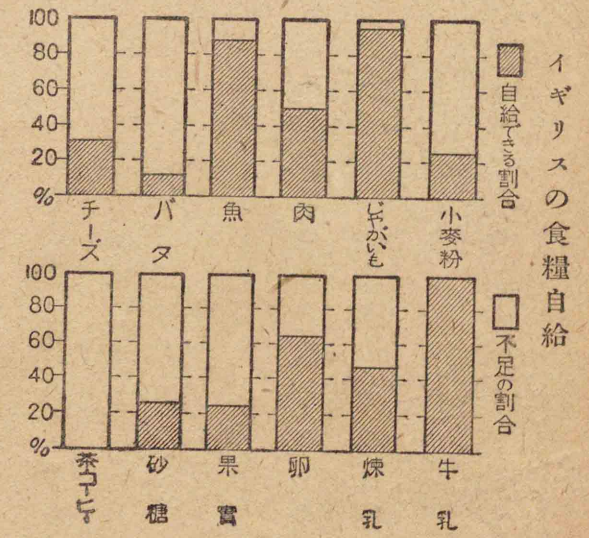
改めて世界地圖を開いて見よう。各大陸にわたつて分布する英國の領土は、世界の全陸地の凡そ五分の一を占めてゐる。この廣い國土をまとめ、多數の住民を治め、豊かな産物を利用してゐる本國として、ヨーロッパの西にあるイギリス諸島におのづから注意が向かふであらう。

暖流の上を渡つて来る西風が一年中吹き寄せるので、その位置はわが樺太よりも北に當るにも拘らずかへは、氣候が溫和で、濕氣が多く、殊に冬は霧に包まれる日が多い。ペニン山脈やウェールスの高地、スコットランドの山地などが、大體南北に連なつてゐるので、雨量は西側と東側とでは非常に違ふ。

昔は農業も盛んであつたが、貿易の發達によつて海外の安い農作物がはいつて来るやうになつたのと、工業の發達につれて國民の約半数が都

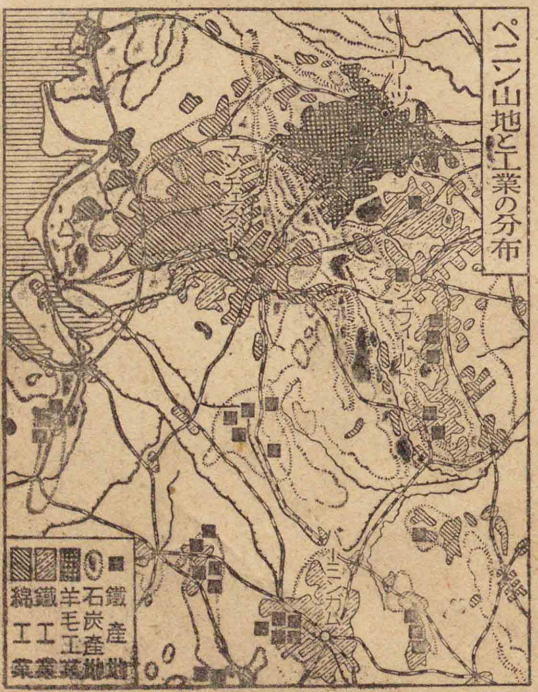
市に集つて、地方の勞力が不足したために、農業が衰へ、耕地を牧草地に變へてしまつた所が多い。そのため牧場はふえたが、小麥は一年の中の三箇月分餘りしか自給できないことになつた。その他は、一般に食糧の不足が甚だしく、植民地やヨーロッパの國々から輸入してゐる。牧場は全土に廣がり、雨の多いイングランドの中部やアイルランドでは牛を飼ひ、雨の少いスコットランド南部やウエールスなどの山地では羊を飼つてゐる。

綿工業は前からこの國の代表的工業の一つである。濕氣の關係から、西側の炭田のあるマンチェスターやグラスゴウの附近で行はれる。

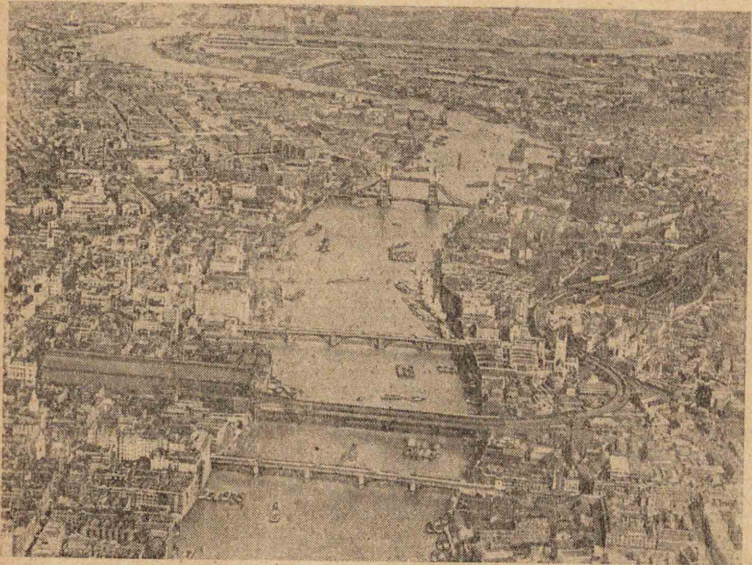


ティーズ川とドック

東側の牧羊地帯では、附近に炭田のあるリーズを中心として、羊毛工業が行はれてゐる。他の重要な工業は製鐵造船機械などの重工業である。これらは炭田や鐵産地の附近に發達してゐる。殊にバミニングム附近は盛んで、工場が空を呼ばれてゐるほどである。これらの各種の工業は、國內の石炭が極



ロンドン



めて豊富であつたので、列國に先んじて發展させることができたのである。このやうに盛大な工業の生産品を廣く世界中に輸出したり、工業原料や食糧品を輸入したりするため、貿易は古くから盛んで、隻數噸數ともに世界一といはれる商船をもつてゐる。その上、貿易以外の仕事でも多くの收益をあげてゐる。

テムス川にまたがる首府ロンドンはこの國の經濟上の中心であり、最近までは世界第一の商業の中心となつてゐた。又リバプールはロンドン

に次ぐ貿易港である。

この國の海岸線は非常に屈曲が多く、港灣が發達してゐる上に、國全體が魚の多い廣い陸棚にのつてゐるので、漁業が盛んである。國民は航海にすぐれ、早くから世界の海に進出して、廣大な植民地を獲得した。更に島國であることは、國土防衛に好都合であり、専ら海軍に力を注ぎ、英國艦隊は世界最強を誇つて來た。

住民の大部分はアングロサクソン人である。利益のためには勤勉であり、かれらの間では信義秩序を重んずる風がある。しかし利害の念が強くと、特に異民族や植民地の原住民に對しては傲慢で、あらゆる苛酷な取扱ひを續けて來た。

人口は約四千八百萬、イングランド南部に多く住んでゐる。ほかに、この國の原住民である約三百萬のケルト族が、主にアイルランドにゐる。かれらはアングロサクソン人と民族宗教を異にしてゐるので、常に争ひ

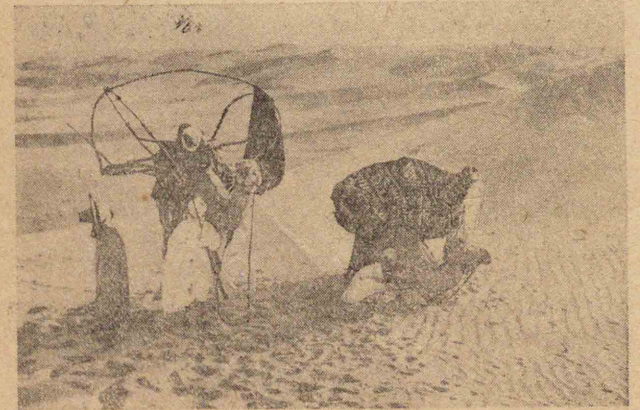
が絶えず、今はエイレ共和国を作つてゐる。

このほか、最近目ざめた植民地の獨立運動などのため、世界各地の廣い領土の支配が困難となり、特に大東亞戦争によつて東洋の植民地を失ひ、又ヨーロッパに於ける勢力も昔のやうではなく、非常に苦しい立場に立つてゐる。

わが國とは日露戦争以前から一時同盟國の間がらにあつたが、わが國の發展が英國の利害に一致しなくなると、忽ちこれを破棄してしまつた。その後も、わが國の工業の發展と貿易の伸張しんさうにつれ、世界中の市場を失ふまいとして、英國は手段を選ばず、これを防止しようとしたばかりでなく、わが國の正しい發展にさまざまの壓迫あつぱくを續けて來たのである。

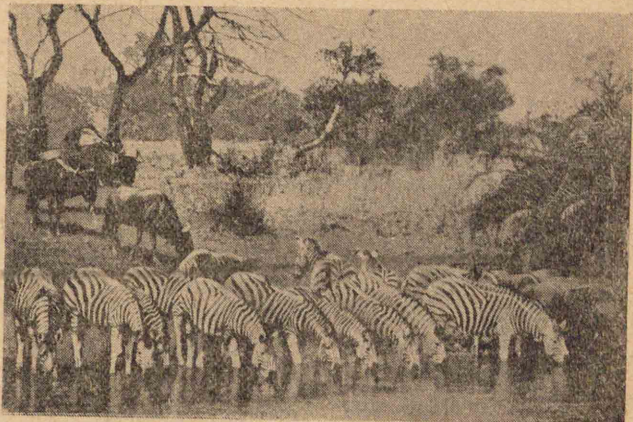
八 中南アフリカ

アフリカは、かつては暗黒大陸と呼ばれてゐた。しかし最近では事情が非常に變つて來た。地中海は大昔からりつばな交通路で、ヨーロッパと北アフリカとを、地中海地域といふ一つのまとまつた地域にするのに役立つた。ところが、越えがたいサハラ沙漠は、北アフリカと中南アフリカを全く切り離してゐた。北アフリカが古代の文明を誇る數々の遺蹟をもつてゐるのに、中南アフリカには誇るべき何ものもないのは、そのためである。



サハラ沙漠

唯、勇敢なアラビヤ商人だけは、古くから紅海



縞馬

を渡つて、東アフリカに、或はサハラ沙漠を横ぎつて西アフリカに、珍しい産物を求めて往來した。しかし、中南アフリカの事情が、ヨーロッパ人に知られ始めたのは、漸く四百五十年前、この大陸をめぐる航路が開かれて、探検が行はれるやうになつてからである。

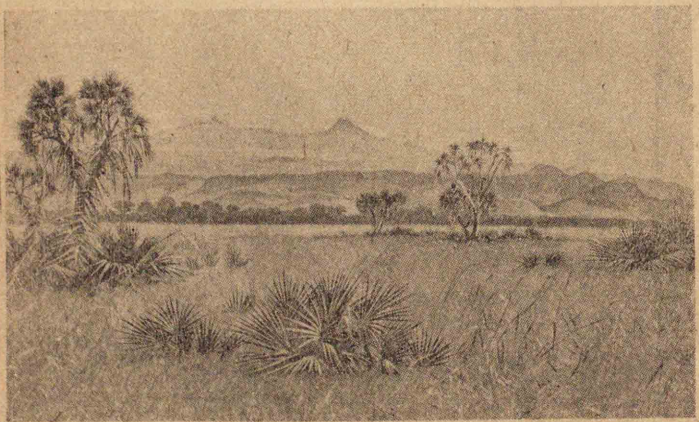
赤道がこの地域の中央を横ぎるので、大部分は熱帯の氣候である。赤道附近は一年中雨が多く、一帯の大密林をなし、類人猿、象、河馬、鱔などがすんでゐる。その北と南とは、夏は雨が多いが、冬は乾燥する氣候で、丈の高い草地の中に樹木がまばらに立つてゐる。縞馬、きりんなどが、この地帯にすむ。更に北と南へ進めば、雨が少く、草原となつて、獅子、駝鳥などがすむ。もつと進ん

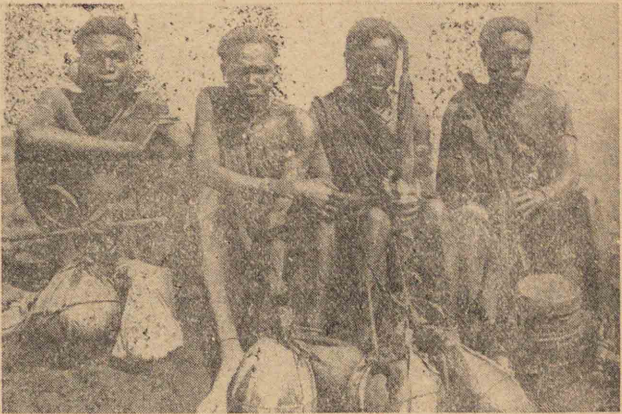
で回歸線の附近になれば、雨は殆どなく、草木を見ない廣い沙漠となり、そこを越えれば、再び草原が現れて、大陸の南北兩端は地中海性氣候の地方となる。

熱帯の草原

これらの諸地方の原住民は、一口に言へば黒人である。しかも森林や沙漠など、相互の交通連絡の容易でない土地に、多くの種族に分れて住んでゐる。

アフリカの地圖を開いて國境の線に注意するがよい。單調な海岸線に圍まれながら、國境の線は複雑に走り、一つの國の領土があちこちに散らばつてゐたり、或る國の領土の中に、他の國の領土がはいり込んだりしてゐる。しかも、これらは一、二の獨立國を除けば、皆ヨーロッパ





黒人

の國々の植民地である。四百年の間に、ヨーロッパの國々が、いかに手當り次第に原住民からその土地を奪つたかがわかるであらう。これらの國境はしばしば變つてゐる。しかも、それはアフリカでの列國の争ひのためになく、ヨーロッパでの争ひの結果として、興へたり奪つたりしたのである。

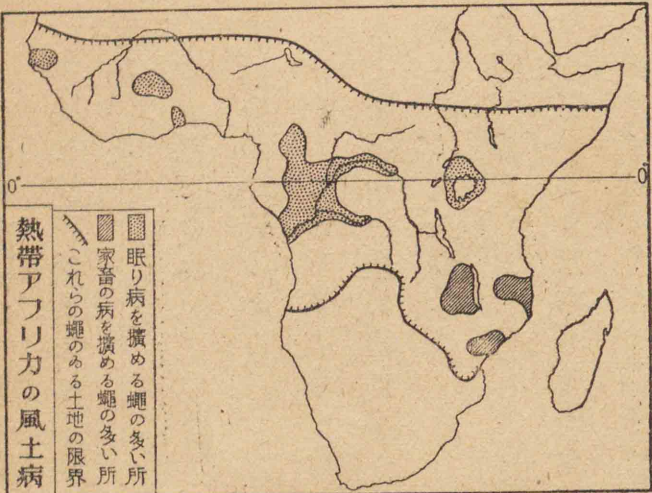
大西洋岸を南下して行つたヨーロッパ人が、一番早く開いたギネヤ灣岸の奴隷海岸、黄金海岸などの地名を見れば、これらの植民地から何を本國に運び出したかがわかるであらう。もともとの附近は、黒人の人口密度が高く、古くから原始的な農業が行はれてゐた。アメリカ大陸の開発に、勤勉なこの地方の黒人が奴隷として

働いたことは有名で、後に故郷に戻つて建てた國がリベリヤである。

海岸地帯は、白人の墓地といはれるほど氣候が不良で、風土病も甚だし

いが、少數のヨーロッパ人が率先して移住し、黒人を使つて開拓した。今では海岸から内陸へかけて大規模な熱帯農業が行はれ、ココア、油やし、落花生などの産が多い。

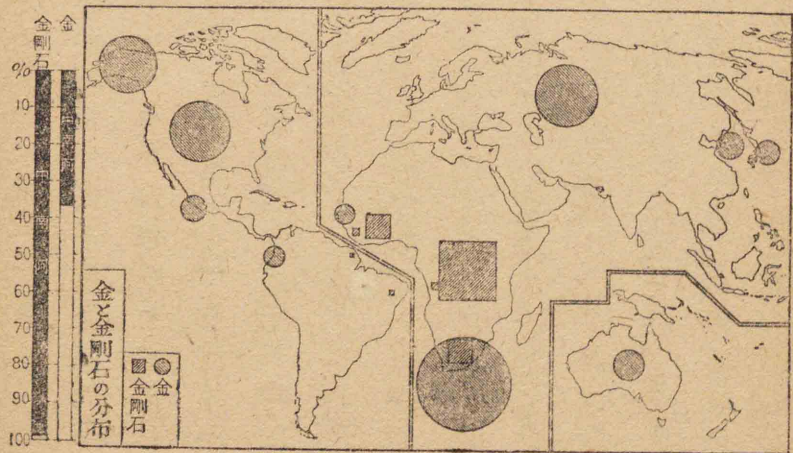
これらの農作物や金、銅、マンガン、金剛石、石炭などを本國へ送り出すために、その産地と積出港とを結ぶ短い鐵道が各地に敷かれてゐて、川や隊商路と補ひ合ひ、助け合つてゐる。最近ではサハラ沙漠を横ぎる大仕掛な自動車道路が開かれて、この地域を北アフリカに、又ヨーロッパに堅く結びつ



けようとしてゐる。そのほか各國により、その本國と植民地とを結ぶ航空路も開かれてゐる。

赤道直下のコンゴは、ベルギーの植民地で、本國の数十倍もある。コンゴ盆地は深い密林をなしてゐるが、高地には銅、金、石炭、金剛石などの礦物を産し、特にヨーロッパで需要の多い銅は、黄金海岸のマンガンと共に大切な資源である。

南アフリカは、南半球の温帯にはいり、氣候が温和で、最も住みよい所である。随つて白人が割合に多く、イギリスの自治植民地として南阿聯邦を組織してゐる。この地方の原



住民は人口の七割を占めてゐるが、かれらには僅か一割の土地しか與へられてゐない。

金の産額は世界第一で、鑛業はこの地方第一の産業である。農牧も南東の海岸地方に廣く行はれ、小麥、さとうきび、たうもろこしなどを作り、牛、羊を飼つてゐる。羊毛と砂糖は多く本國に輸出する。

東アフリカはナイル川の上流と、湖の列より東の地帯で、ヨーロッパ人の最もおくれて來た地方である。ナイルの上流地方や海岸の平地には、綿のほかコーヒー、さとうきび、やしなどが作られ、内陸には象牙などの特産がある。紅海に沿ふ地方は地中海に對する軍事上の要地である。又ケニヤ、ウガンダなどの諸地方には、インド人も住んで活躍してゐる。

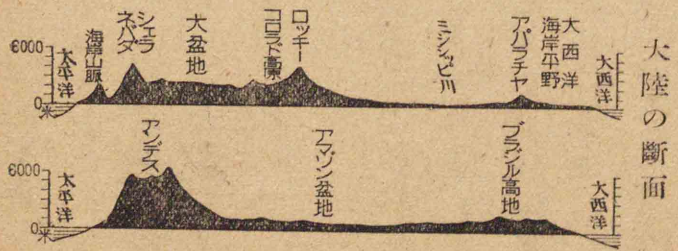
アフリカの南東海上にマダガスカルの大島があり、インド洋上の要地として注目される。

九 北米及び南米の概観

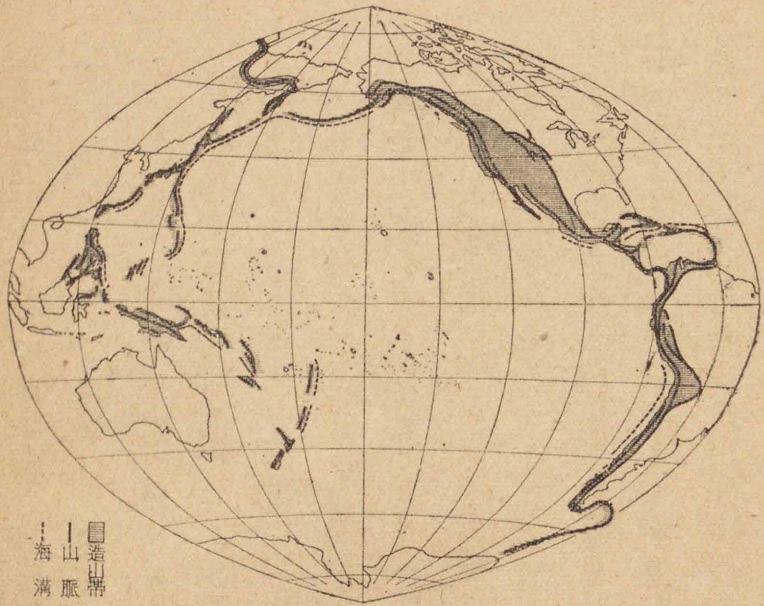
日本の南東岸を洗ふ黒潮は、太平洋を横ぎつてアメリカ大陸に達する。地球表面の三分の一を占める海面も、交通機關の發達につれて次第に狭められ、東亞とアメリカとは、眞近く向かひ合つてゐる。

日本を中心として、南はフィリピン・パプアなどを経て、ニューギランド方面にまでも達する大きな弓形の山脈は、北では千島からアリューシャン列島を通り、更に北米・南米の西側を走る長大な山系を起して、遙かに南極大陸に連なり、こゝに大きく太平洋を取り圍んでゐるのである。

アメリカ大陸はこの太平洋側の長大な山系と、大西洋



太平洋を圍む山系

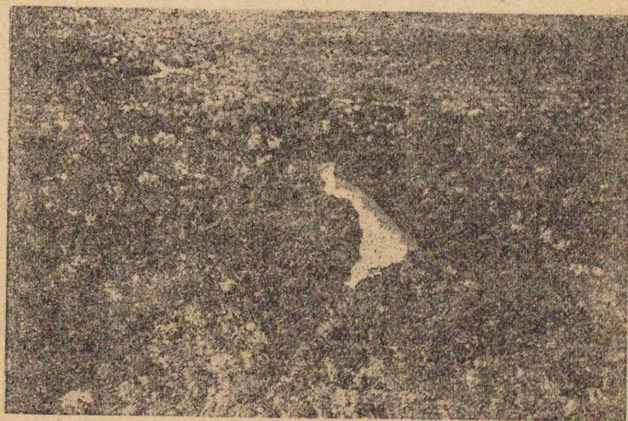


■造山帯
— 山脈
— 海溝

側の低い山脈・臺地とがその骨組を作つてをり、これら兩高地の間に廣い低地が横たはつてゐる。平野にはミシシッピ・アマゾン・ラプラタなどの水量の豊かな大川が悠々と流れてゐる。
北アメリカの南部は狭くなり、細長い中央アメリカを通じて南アメリカに連なり、その中の最も狭い地峽部を切り開いたパナマ運河が、二つの大洋を結びつけてゐる。
南北に長いアメリカ大陸は、あらゆる氣候を含んでゐる。

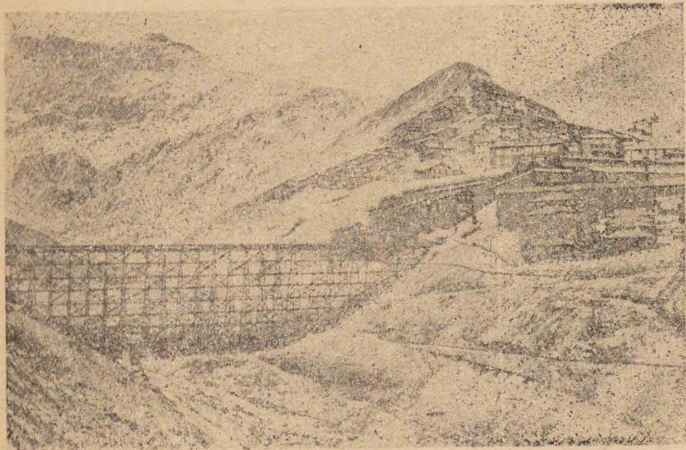
赤道を中心として、西インド諸島からブラジルの大部分にかけては、熱帯気候である。赤道直下に當るアマゾン流域や、貿易風の風上に當る西インド諸島及び中央アメリカの北東側などは、一年中雨が多いため、ボルネオやコンゴ盆地のやうな密林になつてゐる。これら諸地域の沿海地方では、東インドで見るやうな熱帯農業が行はれてゐる。

次に米國の東半や、ラプラタ流域は温帯気候で、この大陸の主要な農業地帯をなし、穀物を始めいろ／＼な作物が栽培され、牧畜も行はれる。又、米國の西岸には地中海性気候の所もあつて、ヨーロッパの地中海地域と同じやうな農業を大規模に行つてゐる。



アマゾン川上流の原始林

更に北方のカナダは冷帯気候で、北歐と同じく大部分は針葉樹林にお
アンデス山中の鑛山



ほはれてゐる。北極圏内は全くツンドラ気候となるので、少数のエスキモー人が困難な自然にたへながら、けものや魚を取つて生活してゐる。なほ、ロッキーマウンテンやアンデスの山系に沿つて乾燥気候の地帯があり、人々は住みにくい土地にあつて、鑛物資源の開発のために働いてゐる。

又アンデスの赤道を中心とする地方では、気候は山麓から山頂へかけて熱帯性から温帯性、更に冷帯性へと移り變る。随つて人々は焼けつくやうに暑い海岸地帯をさけて高

所に住み、その高さに應じて作物を作り、又富士山頂ぐらゐの高さに幾つもの都市を發達させてゐる。

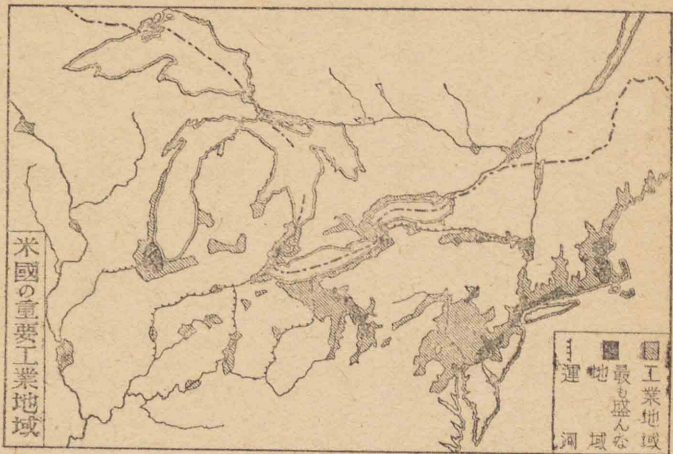
交易によつて大きな富を得ようとしたヨーロッパ人は、約四百五十年前から新しい土地を求めて盛んに海外へ航海した。西へ行けばインドへ着くと考へたコロンブスは、大西洋を越えて今の西インド諸島を發見した。これに續いて盛んに探檢が行はれ、イスパニヤ・ポルトガル・フランス・イギリスなどは、争つてこの地方を植民地とし、國民を移住させた。冒險好きな探檢者らは、アメリカに固有の文明を築きあげたインカ王國その他を、武力や謀略に訴へて滅し、原住民であるインディアンを支配し、約二百年前までに、北米の大部分はイギリス、その南から南米の西部はイスパニヤ、東部はポルトガルの植民地となつた。これらの子孫は、植民地を犠牲にする本國の政治にたへかね、米國の獨立にならつてそれと相ついで獨立し、今日見るやうな多くの國々を建てた。植民地として残つて

ゐるのはカナダと、そのほか僅かの地域とだけである。

このやうに、カナダ及び米國を含む北米は、英國から移住したアングロサクソン人が多いので、アングロアメリカと呼ばれる。これに對してメキシコから南の國々は、イスパニヤ人・ポルトガル人など、ラテン民族の子孫と、それとインディアン、或はアフリカから移された黒人との混血人とが建てた國々であるから、ラテンアメリカと呼ばれる。

兩地域とも人口密度





は至つて低く、アングロアメリカには、カナダの北部やアラスカのやうに殆ど人の住まない広い地域があり、ラテンアメリカは、ほぼ同面積のアングロアメリカの半分の人口を支へてゐるに過ぎない。

このやうに少い人口に對して、土地は思ふ存分廣いので、大規模な農業や牧畜業が發達し、鑛山や森林の開發も進んでゐる。工業はアングロアメリカでは先づ東部に興つた。石炭、鐵、石油のやうな近代工業の基となる原料が豊富なので、五大湖の地方へも延びて、ヨーロッパ諸國を凌ぐ工業地域が發達し、人口も著しく増加した。そのため農業地帯は次第に西方へ押されて行き、牧畜地帯は更に西へと移つて

行つた。ラテンアメリカの工業は、ブラジルを除くと、まだ農産物や畜産物を加工するものが主で、大部分は農牧の地域である。

米國は西インド諸島の國々を殆ど保護國と同様の地位におき、その上、強大な軍備と資本の力とで、ラテンアメリカにも英國やドイツを押しつけて進出し、貿易や外交の關係を通して、經濟の上でも、政治の上でも、各國をその勢力下におくことに力を注いでゐる。殊に大東亞戦争が始り、米國は大東亞から退けられるに至つて、アメリカ大陸内に資源や販路を求め、必要が起り、アメリカ大陸は、一層米國中心の地域と見られるやうになつた。

十 アングロアメリカ

太平洋と大西洋との間に横たはり、一億四千萬の人口をもつ米國は、食糧の大部分を自給してゐるばかりでなく、石油・石炭・鐵・銅など最も必要な鑛産物は、いづれも世界一の産額をあげてゐる。又、林産に富み、好漁場を控へてゐる。工業もこのやうに豊かな原料を土臺として著しく發達してゐる。

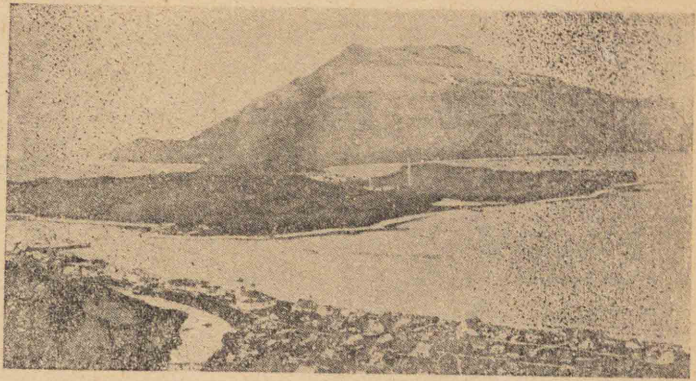
米國の地下資源



りない約一千一百万である。米國とカナダの國境は、北緯四十九度の緯線及び五大湖であるが、カナダの農業は國境沿ひの狭い地帯で行はれてゐるに過ぎない。その北には廣大な森林帯とツンドラ帯とが廣がり、少しばかりの鑛業地を除けば、殆ど無人の境である。北西に延びた米領アラスカも、また似たやうな所である。

アングロアメリカの西部、太平洋岸に近くそびえ立つロッキーマウン系は、米國の領土にはいつてシエラネバダ・カスケード・海岸山脈などを起し、著しく幅が廣くなつてゐる。これに沿うて火山帯や地震帯が走つてゐる。東部にはラブラドル高原やアパラチヤ山脈があり、この東西兩山地の中央に廣い平野がある。

この平野を、世界一の長流ミシシッピ川が多くの支流を合はせながら、網の目のやうに流れてメキシコ灣に注ぎ、セントローレンス川は、五大湖の水を集めて大西洋に注ぐ。又マッケンジー川はカナダの北部平野の



アリゾナの軍港

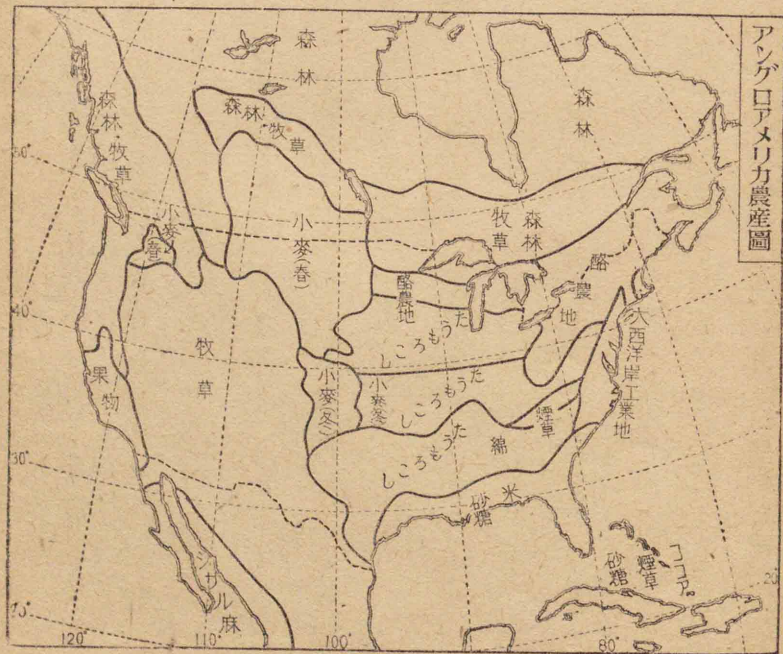
湖群を連ね、森林を縫つて北極海に、ユーコン川はアラスカの産金地を流れてベーリング海に注いでゐる。ベーリング海の南を限るアリゾナ列島は、アラスカからカムチャッカへの橋として軍事上大切である。

中央の大平野は一大農業地である。両側に山地があるので、メキシコ灣の沿岸地方のほかは氣候が大陸性で、雨は西へ行くに従つて少くなる。南から北に進むにつれて氣温がさがるので、作物の種類もそれに伴つて變つて行く。メキシコ灣岸地方の位置は、わが九州の南部に當り、亞熱帶の氣候で、さたらきび米などを作る。

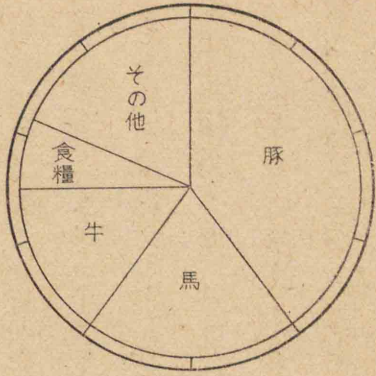
その北から平原の中部に至る地域は、綿の大産地である。世界の綿の

半分近くはこゝで出来、ニューヨークリヤンスやガルベストンの港から積み出してゐる。この綿の栽培は、アフリカの黒人を奴隷とし、慘酷な鞭の下で働かせて、始めて成功したものである。奴隷は自由の身となつてからも、勤勉な農民となつてこの地方に残つたが、かれらに與へられたものは、白人とは甚だしく差別のある待遇であつた。

綿産地の北から五大湖の近くまでがたうもろこし地帯で、その



米國のたうもろこしの用途



中に幅の狭い煙草産地を含んでゐる。たうもろこしは、もと／＼アメリカ大陸の作物で、ヨーロッパの移住民が原住民にならつて作つたものであり、それから今日まで大陸の發展に大いに役立つて來た。又この地帯ではたうもろこしを飼料として、豚・牛・馬の飼育が盛んである。なほ、南部では冬小麦を作つてゐる。

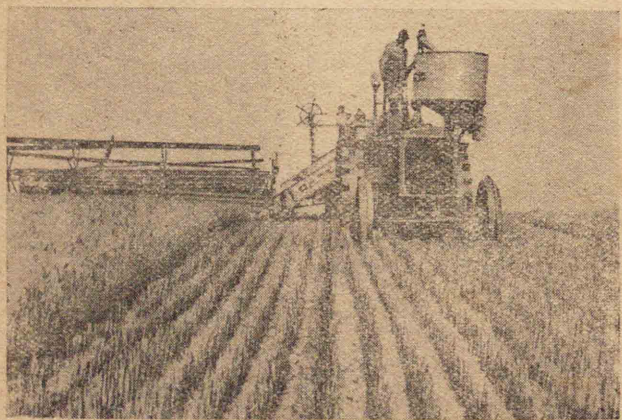
五大湖附近からその東部にかけては、酪農業と牧畜の地帯がある。ヨーロッパの移住民の早くはいつた所であるだけに、こゝはヨーロッパの農業地とよく似てをり、燕麥大麥などの飼料作物が多く、牛を飼ひ、又じやがいもや甜菜も少からず作られる。

五大湖の北では牧場と森林とが多いが、その西はたうもろこし地帯から續く春小麦の地帯となつてゐる。こゝでは小麦のほか、亞麻も作つて

ゐる。特にこの地方は土地が廣く、人手が少ないので、トラクターを使ふ大農法を行ひ、見渡す限りの小麦畠から多くの收穫をあげてゐる。しかし同じ面積から取れる小麦の分量は、わが國や中欧地域の國々に比べると半分にも足りない。この春小麦地帯は、カナダの中部平野まではいり込んでゐる。

それから北は針葉樹の森林が續き、林業と狩獵の場所となつてゐる。五大湖地方や西部地方の森林は殊によく利用され、木材やパルプの産額が極めて多い。

大平野の農業地帯の西は、ロッキー山麓の乾燥した牧草地帯で、羊や牛馬などが飼はれてゐる。



小麦の收穫

太平洋岸の南部のカリフォルニア地方は地中海性気候であり、ぶどう、オレングソのほかの果物を大規模に栽培してゐる。サンフランシスコやロスアンゼルスはこの地方の中心地である。わが國の移住民は主として太平洋沿岸に居住し、永い間土地の開拓発展に多大の努力を續けて來た。

大西洋側のニューファンドランド島近海は、世界的の大漁場で、たらにしんの漁獲が多く、カナダの太平洋側ではさけますの産が多い。

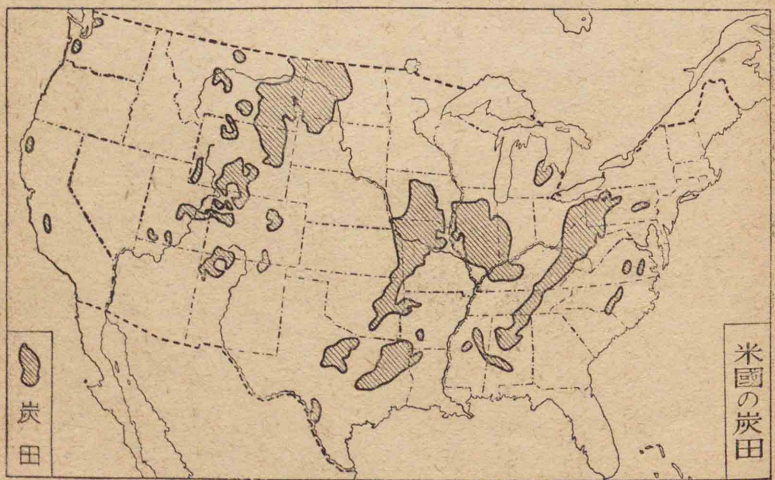
鑛産資源は世界のどの地域よりも豊かで、種類も量も共に多い。これら鑛山の開發は速かに進んで行つた。東海岸からはいつた移住民を、太平洋岸の地方へかり立てたのは、鑛産物の力であつた。移住民は鑛産物を目ざしてひたすら西へと進み、そのために耕地も牧場もなかつた新しい土地に、やがて農牧地が現れるやうになつた。

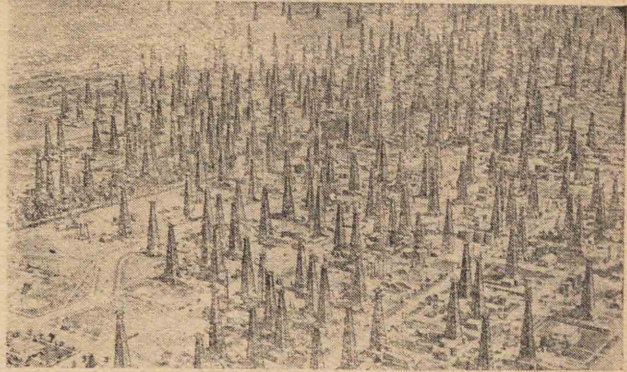
西部山地の南半には石油銅を始め、多くの鑛産資源があり、又メキシコ

灣岸からミシシッピ川の中流地方にかけては、石油・石炭・鉛・亜鉛などの産が多い。

五大湖地方は鐵の世界的産地で、銅の産も少くない。アパラチャ山地の石炭・石油も有名で、早くから開けた地方であり、西部山地の不便なのに比べて位置が頗るよいので、開發・利用が進んでゐる。

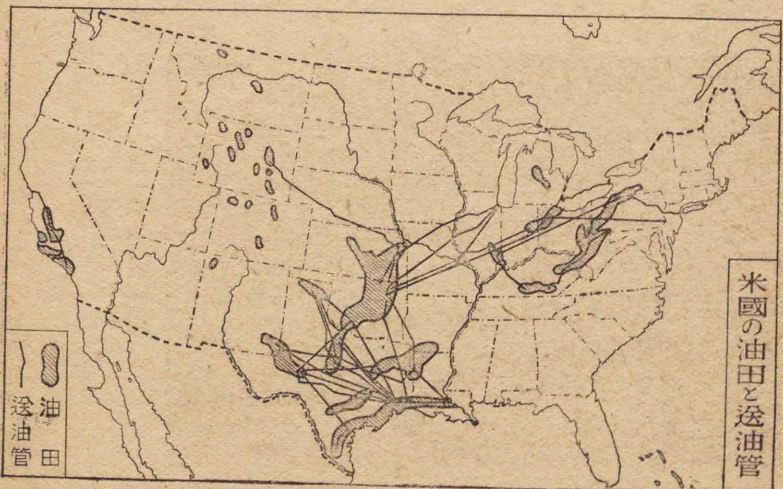
米國は世界一の鑛産國であり、消費國であり、又輸出國である。殊に石油の産出は、世界全産額の三分の二に近く、中南部諸州の油田とカリフォルニアの油田とは最も多い。油田からは各工業地へ送油管が設けられてゐる。





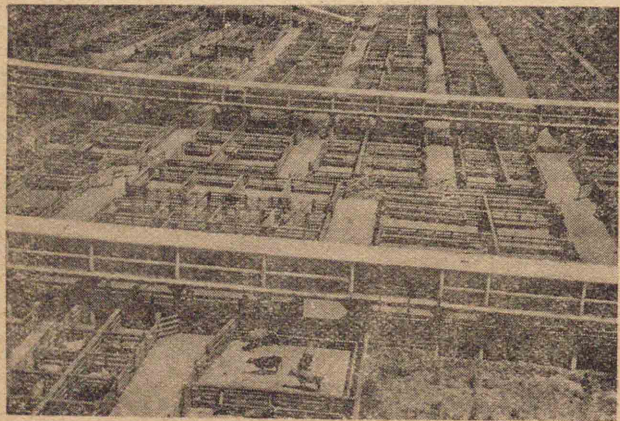
カリフォルニアの油井
合はされる所は工業地帯となつてゐる。
特に五大湖から大西洋岸へかけては、工業

又カナダの鑛産
は、世界一のニッケ
ルを始め、金、銀、銅、鉛
亜鉛など、いづれも
世界有數である。
地上にも地下に
も資源が多い上に
水力發電も發達し
てゐるので、交通が
便利で、原料と動力
とが都合よく組み

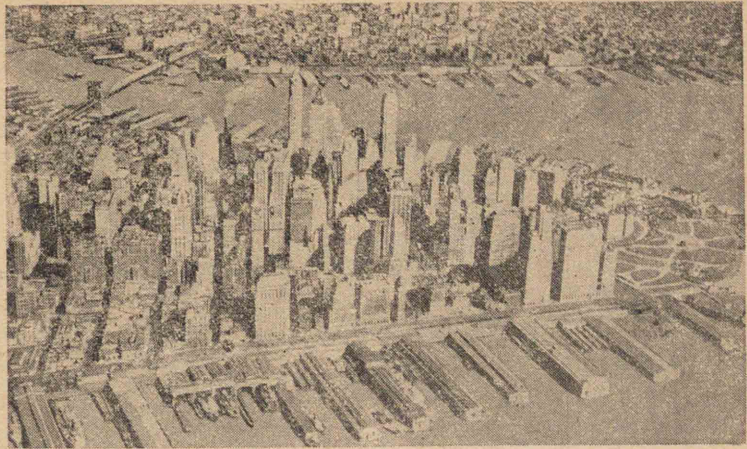


米國の油田と送油管

都市が甚だ多い。五大湖西部の鐵とアパラチヤ北部の石炭とが、湖水や
運河の航路によつて結ばれる附近には、デトロイト、ピッツバーグなどの
製鐵や機械工業の都市が集つてゐる。ミシガ
ン湖岸のシカゴでは、製粉や肉類加工を始め、種
種の工業が盛んである。五大湖の出口に當る
所には、森林地帯を控へたセントローレンス川
に沿うて、カナダの首府オタワやモントリオ
ールなどの製材、パルプ工業の都市がある。大西
洋岸のポストン、ニューヨーク、フィラデルフィ
ヤなどは、重要な商港であり、又、機械、造船、紡織な
どの工業都市である。フィラデルフィヤの南
西に首府ワシントンがある。
盛大な産業に應じて交通の發達も著しく、小



シカゴの屠殺場



ニューヨーク

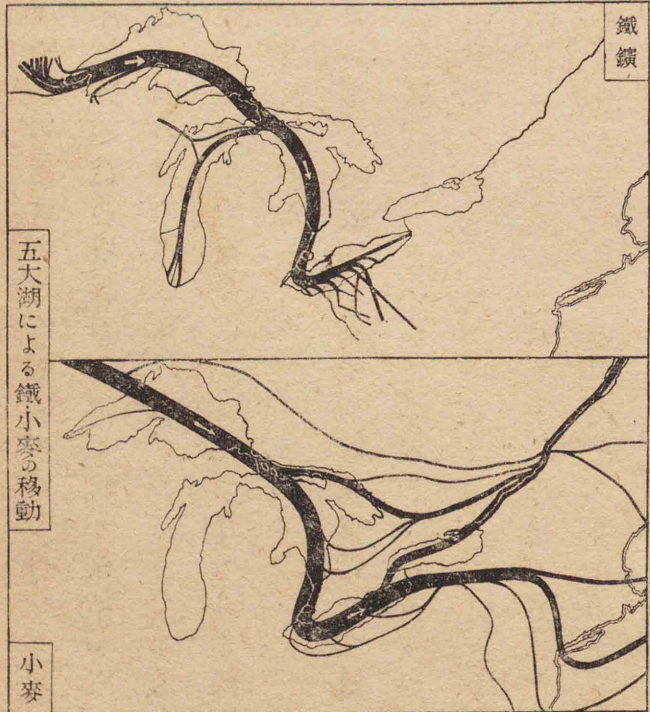
麥地帯から南は各地に鐵道が通じ、幾つかの大陸横斷鐵道を根幹として、これと相結んだ鐵道が網の目のやうに陸地をおほつてゐる。自動車交通も豊富な燃料に恵まれて、非常によく普及してゐる。

水路もよく發達し、五大湖の水面は工業地域の動脈であり、世界のどの水面よりも交通が頻繁である。ミシシッピ、セントローレンスは、多くの運河と共に物資の輸送が盛んである。五大湖や北部の水路は冬凍るのが缺點である。沿岸の海路も陸上輸送の補助として重要である。

航空路の發達も著しく、大型旅客機は主要

都市を結び、又、大洋を越えて他の大陸にも達してゐる。

住民は大部分移民とその子孫とて、原住民は開發の進まない所に僅かにゐるだけである。アングロサクソン人と共に早く移住したフランス人が、セントローレンス川から米國の中部へかけて住んでゐる。又、アフリカから奴隸としてはいつた黒人は、南東部に多い。大西洋岸にはイタリヤ、ドイツ、ポーランドなどからの移民が多く、太平洋岸には日本人、支那人などが多い。



米國は約百六十年前、大西洋岸の十三州が英國から獨立してから急速に西方へ國土を擴げ、約百年前には太平洋岸に達し、その後現在のやうに一區四十八州となつた。その歴史は短く、發展が急であつたので、實利を主とする餘り、精神的なうるほひに缺け、唯廣大な領土と豊富な資源とを誇りとし、物の力で總べてを解決しようとする性格が出来上つた。口に博愛・自由・平等をとながら、原住民や黒人を虐待し、東洋人を排斥してかへりみるところがない。

明治維新以來、わが國とは密接な關係があり、太平洋沿岸地方には、わが移住民の努力で開拓された所が少くない。しかるに米國はその後、却つてわが移住民に制限を加へ、關東震災の翌年即ち大正十三年には、遂に入國を禁止するに至つた。又わが國が繁榮して行くにつれて、ねたみ始め、英國と結んで種々の妨害を試みた。米國の東亞に對する不當な野望は、殊に滿洲事變以來、わが國の誠意を事ごとに退け、日米關係はいよゝゝ

惡化するに至つた。

更に支那事變が起ると、米英兩國の壓迫は一層ひどくなり、わが國の存立をさへ危くしようとしたので、遂にこの暴戾な米英を擊碎し、大東亞共榮圈建設のために、今、わが國は總力を擧げて戦つてゐる。

アラスカは、ロシアの植民地を買収して領土としたものであるが、既に鑛業や漁業で年々ばくだいの利益をあげてゐる。その延長に當るアリユーション列島と共に、現在では産業上よりも、軍事上に重要である。

カナダは、英本國に最も近い植民地であり、又、特に食糧の供給地であるため、英國にとつては極めて大切である。早くから自治を行ひ、外交の上では全く獨立國と變りがない。土地が米國の延長であるばかりでなく、貿易額や投資額は本國よりも米國の方が多く、米國の勢力圏と見られてゐる。殊に現在の大戦で大西洋の交通が危険になつたので、一層米國に頼らなければならなくなつてゐる。

十一 ラテンアメリカ

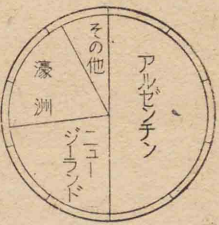
ラテンアメリカには多くの共和國があるが、皆歴史の新しい國々である。工業が発達してゐないばかりか、熱帯から亞熱帯へかけての豊かな土地は開發が進まず、農業さへアングロアメリカに劣つてゐる。

人口は一億三千万を數へるが、廣大な土地に比べれば、その割合は甚だ少い。西インド諸島には、ヨーロッパの農業地と同じくらゐ人口密度の高い所もあるが、南米には一國の人口密度が一方キロ十人を越える國は極めて少い。

ラテンアメリカの大部分は、いはゞ世界の空地である。既に廣大な農業地や牧畜地が開けてはゐるもの、なほ農牧地として開發の餘地が多い。國によつては穀物を多量に輸出してゐるが、それも人口が少くて消費が少いからである。

コーヒー・ココア・さとうきびなどの作物は、主として輸出するためには作

世界の肉類輸出の割合

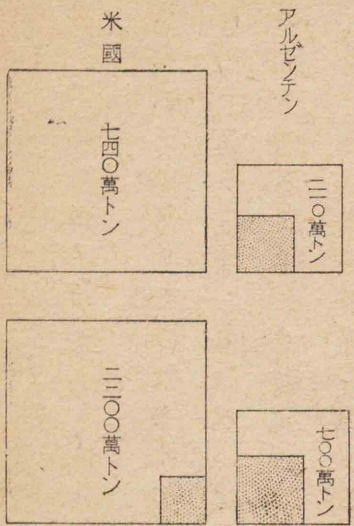


世界の小麦輸出の割合



肉類の産額と輸出額

小麦の産額と輸出額



られてゐる。しかもブラジルのコーヒーやキューバの砂糖のやうに、どの國も僅か一、二の主要産物に頼つてゐることは、人口の少いことと相まつて、ラテンアメリカ諸國の發展に大きなさまたげとなつてゐる。

農業よりも更に廣い土地を必要とする牧畜業は、この地域に一層よく適してをり、畜類・肉類・羊毛の輸出が多い。

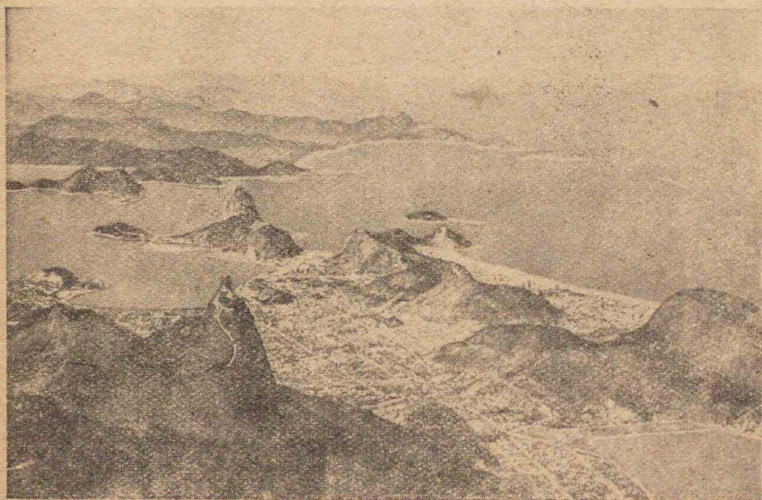
ロッキー山地の續きに當るシエラマドレやアンデスの山地及びその附近は、石油・銅・錫・硝石などの鑛産物に富んでゐる。

る。しかし鑛業も多くは外國の資本で行はれ、利益の大半は外國へ流れ出てしまふ不利な立場にある。

ラテンアメリカの各國によつて輸出されるこれらの生産物は、食糧不足のヨーロッパ諸國や、熱帯農作物の不足する米國にとつて大切である。都市の大部分はかうした輸出港で、ブエノスアイレスやリオデジャネーロなどは、その例である。

ラテンアメリカの北部にあるメキシコ灣とカリブ海とを含めてアメリカ地中海と呼ぶ。メキシコ中央アメリカ南米北部西インド諸島などのアメリカ地中海を圍

リオデジャネーロ

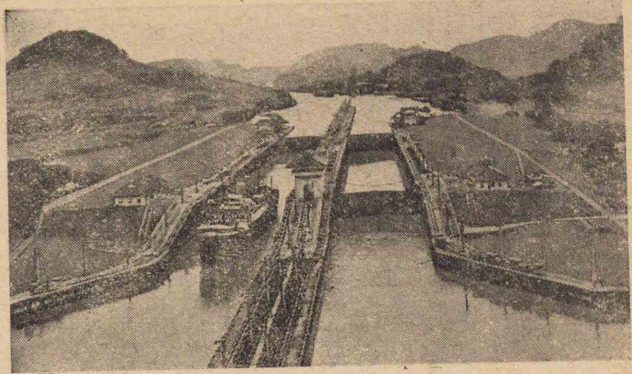


む地域は、歐阿の地中海地域とは別な意味で、われわれの注意をひく。コロンブスが始めてアメリカの土を踏んだのも、この地域であつた。

アメリカ地中海の西岸と南岸との低地は、氣候が不良であり、人々は海岸をさけて高原に住んでゐるが、そのほかの地域は熱帯作物によく適し、古くからコーヒー、ココア、さとうきび、バナナなどが主な作物となつてゐる。米國が東亞に熱帯資源を求めることができなくなつた今日、この地方は米國にとつて一層重視されるのである。

マラカイボ湖の附近には多量の石油を産し、ベネズエラは世界第三の石油の産出國である。メキシコの油田もメキシコ灣の沿岸にある。これらは主として英國や米國に送られる。その上、米國南部の石油やパナマ運河を通つて來る米國西部の石油も加つて、アメリカ地中海は油槽船で賑はつてゐる。

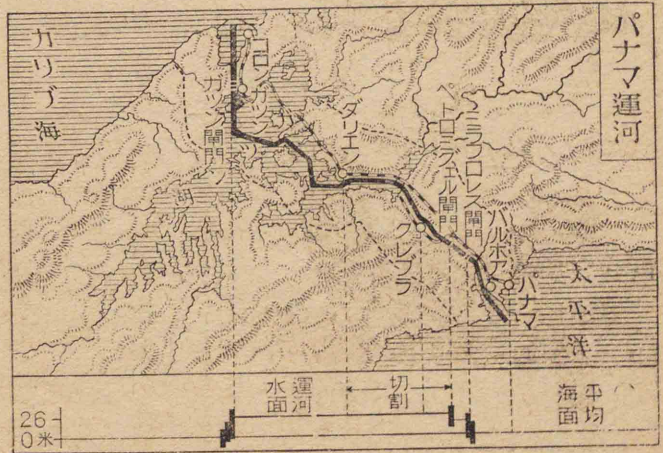
パナマ運河は、困難な地形や氣候や熱帯病と戦ひながら、スエズ運河に



パナマ運河

数倍する努力と工夫によつて出来上つたものである。アメリカ地中海と太平洋とを結び、東亞とアメリカ大陸との交通を便利にしたには違ひないが、それよりもラテンアメリカの太平洋岸の開発と、米國兩岸の連絡とに役立つ

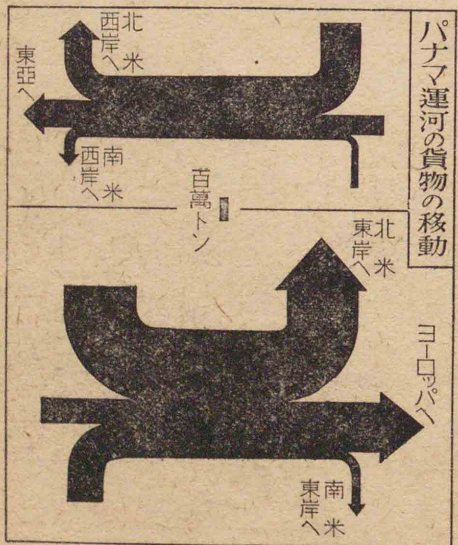
てゐることにより一層大きな意味がある。米國がこの地域の各國を殆ど支配し、且つ多くの軍事基地を設けたことも、おのづからうなづけるであら

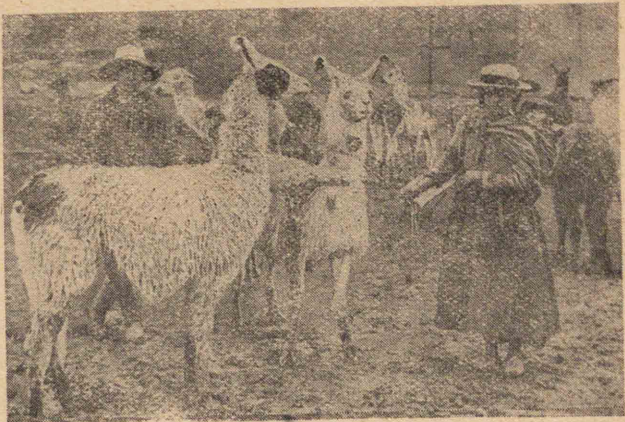


う。鑛産物の多いメキシコも、全く米國の資本によつて支配されてゐる。アンデス山脈は長さに於いて世界一で、高さもヒマラヤに次ぐ大山脈である。南北アメリカ大陸での最高峰アコンカグアや世界最高の活火山コトパクスがこの山脈中にある。

この山地の國としては、北からコロンビア・エクアドル・ペルー・ボリビア・チリなどがある。中でもエクアドルのやうな赤道直下の國では、涼しい高原に主な都市が発達してゐる。

ボリビアの錫、銅、チリの銅などは、この山地の最も重要な鑛産物である。山地の西側、太平洋岸の中部は殆ど雨がなく、沙漠となつてゐる。ペルーの海岸では灌漑によつて綿の栽培が行はれ、わが國





リヤマ

人でそれに従事するものが少くない。細長い
國チリの北部から産出するチリ硝石も、全く雨
の降らない所で盛んに採掘されてゐるが、附近
には飲料水さへなく、住民は遠い山地からの水
道に頼つてゐる。

リヤマとアルパカとはアンデス地域特有の
動物で、高いけはしい山地に適し、荷物の運搬に
使はれるほか、毛は織物の原料として役立つて
ゐる。

アンデス山脈とブラジル高地との間には、廣
大な平野があり、ラブラタ川が流れてゐる。こ

の大平野は氣候のよい温帯にあつて、ラテンアメリカでは最もよく開拓
された所である。米國のやうに機械を使つて大規模な農業を行ひ、小麥

やたうもろこしを多量に栽培し、又、亞麻仁油やマテ茶の産が多い。マテ
茶は南アメリカで古くから栽培され、好んで飲用されてゐる。廣大な牧
草地には牛や羊が多く飼はれてゐる。

アルゼンチンはこの地域の大部分を占め、ラテンアメリカで最も國力
の充實した國である。輸出品の大部分が小麥、たうもろこし、羊毛、肉類、皮
革などで、ヨーロッパ相手の貿易が主であるため、米國に頼る必要が最も
少く、ほかのラテンアメリカ諸國とは著しく立場を異にしてゐる。

ブラジル高地の南東部はコーヒーの主産地で、世界のコーヒーの七割
がこゝで産出される。わが國の移住民の多いのは、この地方である。近
年来作や養蠶も行はれるやうになつた。東部では綿さたうきびなどを
主に作つてゐる。ブラジル高地とギヤナ高地との間には、熱帯の密林を
なす平地があり、アマゾン川が多くの支流を合はせて流れてゐる。アマ
ゾン川は幅が廣く、水量が多く、流れが極めて緩やかである。隨つて水運

の便がよく、アンデス山地の産物をも大西洋へ出すのに役立つてゐるが、流域は開發が困難であり、最もおくれた地域となつてゐる。こゝで天然ゴムの採集を行つてゐるほか、近年その栽培も試みられてゐる。

ブラジルはかうした地域にまたがり、ヨーロッパにも比べられる廣大な國で、人口もラテンアメリカでは著しく多く、アルゼンチンと並んで國力が豊かである。しかし輸出の過半を占めるコーヒーも、その大部分が米國へ向けられる上、そのほかの産物も殆ど米國に輸出されてゐる有様である。

ギヤナ高地とアンデス山脈との間には、オリノコ川流域の平野があり、廣い草原は牧場となつて、主に牛を飼つてゐる。

ラテンアメリカ諸國の大部分は勞力が不足で、世界各地からの移住民を迎へて開拓を行つた。しかし近年は各國ともいろ／＼な關係から、移民を制限し、又は殆ど禁止するやうになつた國もある。

ラテンアメリカは、從來日本人發展の大天地として、最も有望な地方であつた。勤勉着實なわが移住民は、各地の開發と産業とに大きな貢獻を續けて來たのである。又貿易からみても、相互の關係は近來次第に深くなりつゝあつた。特にこの地方の西岸は、直接太平洋を隔ててわが國と面してゐるので、今後もアングロアメリカの場合と同様注目をおこたつてはならない。

三大西洋

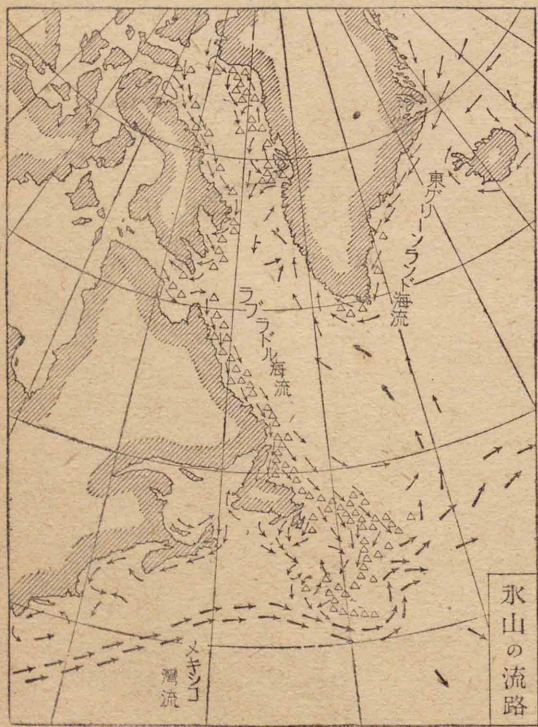
歐阿の大陸とアメリカ大陸との間に廣がる大西洋は、その面積は太平洋の凡そ半分である。航海の發達しない時代には、ヨーロッパ人にとつては、この海の向かふは全く知られてゐなかつた。コロンブスが始めてこれを横斷してから、大西洋はヨーロッパとアメリカとを結ぶ交通路となり、殊に北大西洋航路は、世界で一番旅客や貨物の輸送の盛んな所となつた。

アメリカ大陸の小麥、肉類、綿羊毛、石油などは、ヨーロッパの大きな人口を支へる食糧として、又その盛んな工業の原料として、缺くことのできないものである。一方、ヨーロッパの工業製品は、主に南北アメリカに販路を求めてゐる。それらを運ぶために、世界の商船の半分が大西洋に集つて、この海を横斷し、沿岸には多數の港が發達してゐる。航空路や海底電

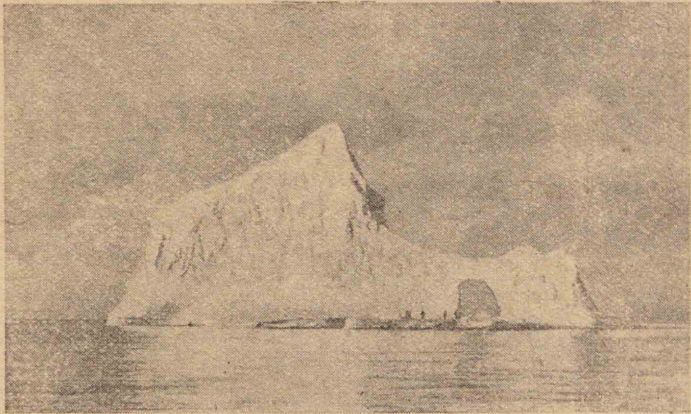
線が、ヨーロッパとアメリカとを結びつけてゐるのも、このためである。

大西洋は交通路として役立つだけではない。ノルウェー沿岸北海などや、ニューフォンドランド島から米國東岸へかけての淺海は、にしん、たらひらめなどの好漁場となつてゐる。又、南極海の捕鯨も有名で戦前、わが國の捕鯨船も活躍してゐた。

赤道の南北兩側には、東から西へ流れる赤道海流がある。北の赤道海流は、メキシコ灣にはいつてから、米國の海岸を北へ進み、北大西洋を東へ横ぎつて、英國の北からノルウェーの沖合まで流れ



氷山



て行く。この海流はメキシコ湾流と呼ばれる大きな暖流である。又グリーンランドの西の方から南へ向かつて流れるラブラドル寒流は、氷山をニューファンドランドの沖合まで運び、こゝでメキシコ湾流に出あふため、夏には濃霧を生じ、北大西洋航路にしばしば危険を與へてゐる。

大西洋上の制海權は、必要な物資や商業の利益を得るために、又、商船や植民地を守るために、この海を圍む列國にとつて極めて重大であるが、特にこの海に頼ることの多い米英は海軍力を集中し、必死になつて守らうとしてゐる。

教科書番號 51ノ一

中等地理 一

定價金三十八錢

著作權所有

著者兼發行者

文部省

東京都神田區岩本町三番地

中等學校教科書株式會社

代表者 山本慶治

翻行者

東京都京橋區湊町三丁目十二番地

株式會社 大倉印刷所

(東東五七) 大壁早治

印刷者

大壁早治

昭和十八年十二月三日印
昭和十八年十二月七日發
昭和十八年十二月七日翻刻印刷
昭和十九年一月十五日翻刻發行



發行所

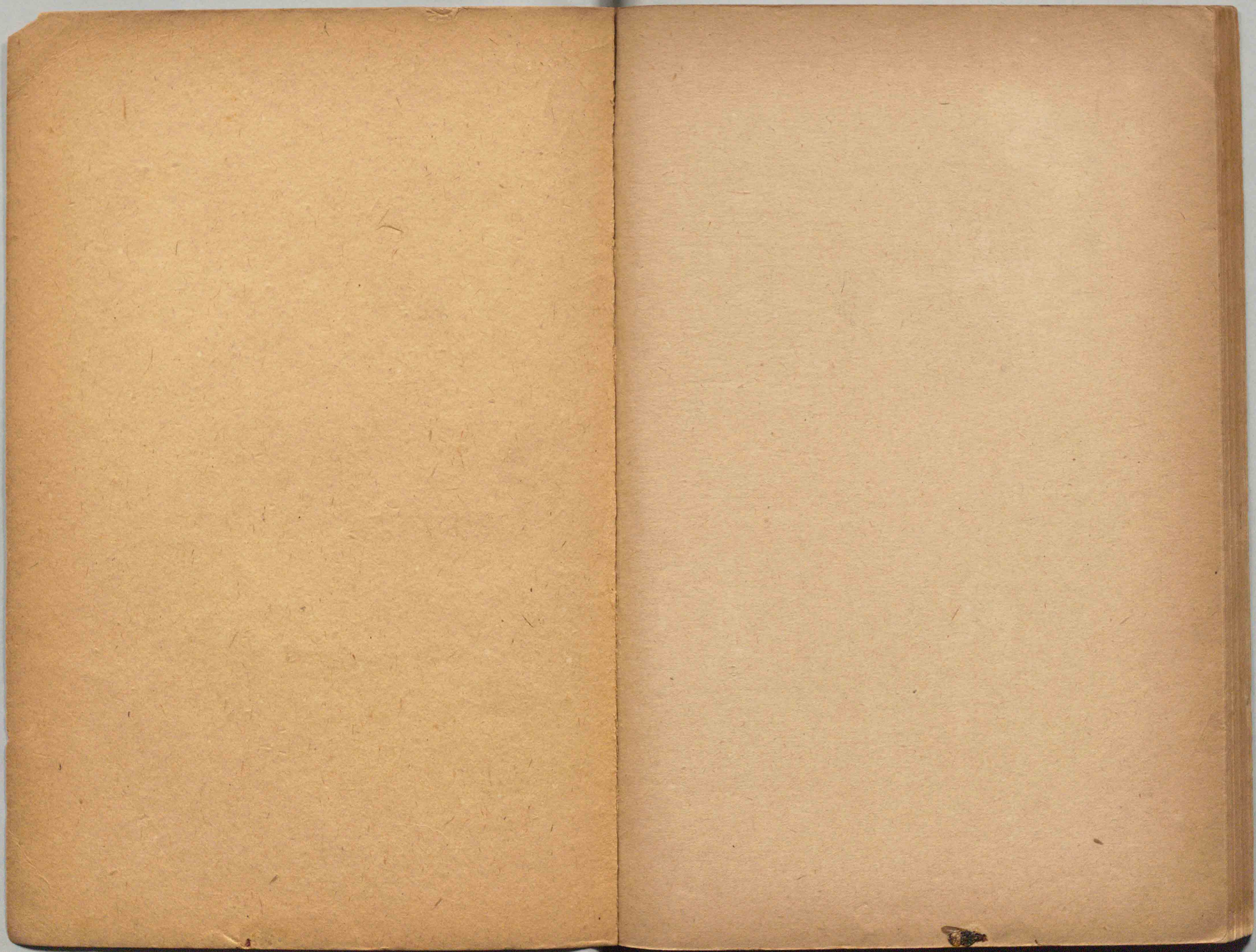
中等學校教科書株式會社

昭和十八年十二月三日印
昭和十八年十二月七日發
昭和十八年十二月七日翻刻印刷
昭和十九年一月十五日翻刻發行



發行所

中等學校教科書株式會社



廣島縣松本工業學校

第一學年B組好澤清人

広島大学図書

2000024156

